

名古屋芸術大学・大学院 後援会報

第63号 2017年9月30日発行

CONTENTS

1	目次
2	ごあいさつ
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画
4	新役員・委員一覧
5	2016年度 後援会決算報告
7	2017年度 後援会予算書
9	名古屋芸術大学近況報告
19	学務部報告 大学へのお問合せ一覧
21	2017年度 入学式
22	2017年度 学生数
23	2017年度 年間行事予定
26	就職セミナーのご紹介
29	各学部進路状況
31	先輩の活躍
33	親の想い
34	子の想い
35	ブライトン大学グラディエイト賞報告
36	音楽学部主催による演奏会のご案内
37	クラブ・同好会紹介
39	トピックス ピックアップ
41	後援会委員募集
42	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
43	大学組織図
44	名古屋芸術大学・大学院後援会会則
45	学校法人名古屋自由学院決算報告
46	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集 編集後記



ごあいさつ



後援会長
平井 友明

保護者の皆様には、日頃から後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る5月21日に開催されました後援会定期総会において会長に選任されました平井友明と申します。

至らない点もあるかと思いますが、役員、委員の方々と共に精一杯務めさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

皆様ご存知のように、名古屋芸術大学では今年度学部改編が行われました。

これまでの美術学部、デザイン学部、音楽学部の3つが統合され、新たに芸術学部が誕生しました。

長年に渡り築かれてきたそれぞれの専門性に加え、幅広い芸術分野について総合的に知識をえることで、現代の多様なニーズに応えることができることを期待したいと考えております。

後援会と致しましても、名古屋芸術大学のさらなる発展を祈念し、協力していきたいと考えております。

1年を通して、作品展や演奏会が開催され、学生の研究成果や成長をご覧いただける機会が数多くあります。是非足を運んでいただき会場をいっぱいにすることで学生を応援したいと思います。

後援会は学生の保護者のみで運営をしております。委員として参加、協力していただける方を随時募集しております。

共に後援会活動をしていただける方がみえましたら、ご協力をお願い致します。



学長
竹本 義明

後援会の役員会に出席するたびに、大学の現状についてお話しさせていただく機会があります。保護者の皆様は、学生の大学生活の状況や、卒業後の進路に関心を持たれています。

大学は今年度から改革をスタートさせ、教育理念に基づいた「分野横断的取り組みによる新たな価値の創造」や「キャリア教育の取り組み強化」により、芸術による教育・研究を発展させ地域・社会に貢献することを実践しています。

現在まで芸術・教育分野の専門性を活かした就職活動を支援してきましたが、社会環境が大きく変化し、少子高齢化により企業を取巻く環境が厳しくなっています。終身雇用制度が崩壊して派遣、パート就労など非正規雇用が増加し、就職しても企業の求める能力と学生のイメージする能力に乖離があり、早期離職を余儀なくされる実態があり、加えて残業問題が社会問題化しています。

本学では専門性を活かした一般企業への就職が増加していますが、感性教育の成果と考えています。以前から演奏家、作家、教育者の就職において、その専門性のもとより広い基礎や教養の涵養が必要とされ、今回の改革では分野横断的取組による新たな価値の創造を可能とする内容としました。

特にキャリア教育の取組を強化し、自治体や企業との連携を進展させ効果をあげたいと考えています。

プレイングマネージャーという言葉がありますが、もともとはスポーツの世界で選手兼任監督に使用されてきました。それが企業において部下の育成・指導を行うマネージャーとしての役割と、実務を担当するプレイヤーを兼ね備えた人材のことを言うようになりました。

プレイヤーは個人目標であり、マネージャーは組織目標とされますが、プレイングマネージャーはプレイヤーとして優秀で専門的能力が必要とされています。芸術や教育の世界でもプレイングマネージャーを実践している卒業生は数多く、演奏家や作家として活躍の傍マネジメントを行い、学校教育の現場では管理職として活躍しています。

後援会の皆様には、今回の改革が学生の卒業後の進路に大きな可能性を与えることをご理解いただき、引き続きご支援をお願いいたします。

2017年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 定期総会

2017年5月21日(日) 午前10時から東キャンパスにおいて、「2017年度名古屋芸術大学・大学院後援会定期総会」が開催されました。

2016年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業報告

月 日	事業内容	開催場所
5月15日(日)	2016年度後援会定期総会 / 定期総会事前打合せ	西キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月1日(水) ~ 7日(火)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付	
6月18日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	東キャンパス
7月16日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月30日(金)	後援会報第61号発行	
10月22日(土) ~ 23日(日)	後援会研修旅行	金沢・山中温泉
10月29日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月21日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	札幌かに本家・金山
2月18日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
2月24日(金)	ブライトン大学賞表彰式 (姉妹提携20周年記念)(歴代会長出席)	名古屋東急ホテル
3月20日(月)	卒業式参列(会長・副会長)	名古屋特殊陶業市民会館
3月20日(月)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	名古屋マリオットアソシアホテル
4月上旬	後援会報第62号発行	
4月1日(土)	入学式参列(2016年度会長・副会長)	西キャンパス
4月15日(土)	2016年度会計監査(2016年度監査2名)	東キャンパス
4月15日(土)	第6回役員会(定期総会準備他)	東キャンパス
備考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業を行いました。	

2017年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業計画

月 日	事業内容	開催場所
5月21日(日)	2017年度後援会定期総会 / 定期総会事前打合せ	東キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
5月31日(水) 6月5日(月)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付	
6月24日(土)	第1回役員会	東キャンパス
7月22日(土)	第2回役員・委員会	西キャンパス
9月30日(土)	後援会報第63号発行	
10月	後援会研修旅行	
芸大祭開催中	第3回役員・委員会(顧問含む)/ 芸大祭参加	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月20日(土)	第4回役員・委員会	
2月24日(土)	第5回役員・委員会	東キャンパス
3月 卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式	
3月	卒業式参列(会長・副会長)	名古屋特殊陶業市民会館
3月	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	
4月上旬	後援会報第64号発行	
4月	入学式参列(2017年度会長・副会長)	西キャンパス
4月	2017年度会計監査(2017年度監査2名)	東キャンパス
4月	第6回役員会・委員会	東キャンパス
備考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業等を行う予定です。	

■2017年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 役員・委員一覧

役職名	氏名
会長	平井 友明
副会長 (総務委員長)	水谷美枝子
副会長 (事業委員長)	種田美保子
副会長 (広報委員長)	野々山早苗
副会長(会計)	近藤 結花
会計監査	山内 正春
会計監査	吉長 未名
書記	川野 佳代
書記	内田由加里
会計	川瀬めぐみ
監事	山田 貢

役職名	氏名
総務副委員長	三浦真由美
総務委員	柏木 司
総務委員	河方亜矢子
事業副委員長	余吾めぐみ
事業委員	廣川 春美
事業委員	杉田 知美
事業委員	小嶋 史子
広報副委員長	伊藤 文子
広報委員	池野 美鈴
広報委員	菊井政右衛門



午前中に総会、本学卒業生でもありますテノール歌手の中井亮一氏による演奏会「オペラを語りアリアを歌う」を行い、昼食後、大学主催の教育懇談会及び学部、領域ごとに分かれキャンパス紹介が実施されました。



音楽領域キャンパス紹介



美術領域キャンパス紹介



デザイン領域キャンパス紹介



人間発達学部キャンパス紹介

■2016年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,397,038	1,397,038	0	
会 費 収 入	22,630,000	22,180,000	450,000	
特別会計より組入	2,500,000	2,500,000	0	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	81	1,919	普通預金
手数料他収入	20,000	180,000	-160,000	寄付
合 計	26,549,038	26,257,119	291,919	

支出の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	250,000	53,010	196,990	
旅 費・交 通 費	200,000	212,000	-12,000	
会 議 費	450,000	231,217	218,783	
事 務 費・用 品 費	50,000	21,648	28,352	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	5,000	95,000	
渉 外 費	400,000	129,673	270,327	役員出張手当 祝花
事務職員人件費	850,000	783,589	66,411	
(総務関係合計)	2,300,000	1,436,137	863,863	
芸大祭補助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,452,604	47,396	
卒業生を送る会補助会	400,000	400,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,400,000	1,231,482	168,518	
公開講座補助	3,600,000	3,433,745	166,255	
役員研修費補助	500,000	355,881	144,119	
(事業関係合計)	22,000,000	21,473,712	526,288	
広 報 活 動	1,200,000	965,952	234,048	広報誌
広報誌郵送料	500,000	401,064	98,936	
(広報関係合計)	1,700,000	1,367,016	332,984	
定期総会運営費	500,000	247,601	252,399	
予 備 費	49,038	16,956	32,082	奨学金返還請求分 弁護士
次 年 度 繰 越	0	1,715,697	-1,715,697	
総 合 計	26,549,038	26,257,119	291,919	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	1,500,927	1,500,927	0	
雑収入	300	318	-18	
合計	1,501,227	1,501,245	-18	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,227	1,501,245	-18	
合計	1,501,227	1,501,245	-18	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	9,379,032	9,379,032	0	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	2,500,000	6,946,222	-4,446,222	
雑収入	1,500	93	1,407	
合計	11,880,532	16,325,347	-4,444,815	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
学生貸付金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	2,500,000	2,500,000	0	
予備費	0	10,000	-10,000	
次年度繰越	9,380,532	13,815,347	-4,434,815	
合計	11,880,532	16,325,347	-4,444,815	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	2,134,183	2,134,183	0	
雑収入	350	18	332	
合計	2,134,533	2,134,201	332	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
記念事業等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,533	2,134,201	332	
合計	2,134,533	2,134,201	332	

■2017年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 予算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2017年度 予 算	2016年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,715,697	1,397,038	318,659	
会 費 収 入	21,742,000	22,630,000	-888,000	4月1日現在 新入生 447人 在学生 1,432人 休学者 28人 大学院生 55人
特別会計より組入	2,400,000	2,500,000	-100,000	学費貸付金口
受 取 利 息	100	2,000	-1,900	普通預金
手数料他収入	20,000	20,000	0	事業協賛金
合 計	25,877,797	26,549,038	-671,241	

支出の部

単位：円

科 目	2017年度 予 算	2016年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	250,000	250,000	0	私学助成署名運動他
旅 費・交 通 費	250,000	200,000	50,000	
会 議 費	350,000	450,000	-100,000	
事 務 費・用 品 費	50,000	50,000	0	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
涉 外 費	150,000	400,000	-250,000	役員出張手当 祝花 等
事務職員人件費	850,000	850,000	0	担当派遣職員
(総務関係合計)	2,000,000	2,300,000	-300,000	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,500,000	0	
卒業生を送る会補助会	400,000	400,000	0	各学部10万円とする
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国 際 交 流 補 助	1,000,000	1,400,000	-400,000	2015年度と同額とする。 2016年度はフライング20周年記念事業で増額
公 開 講 座 補 助	3,600,000	3,600,000	0	
役員研修費補助	400,000	500,000	-100,000	
(事業関係合計)	21,500,000	22,000,000	-500,000	
広 報 活 動	1,350,000	1,200,000	150,000	広報誌・封筒(大・小)
広 報 誌 郵 送 料	500,000	500,000	0	
(広報関係合計)	1,850,000	1,700,000	150,000	
定期総会運営費	500,000	500,000	0	イベント費用、 保護者昼食費用等
予 備 費	27,797	49,038	-21,241	
総 合 計	25,877,797	26,549,038	-671,241	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科 目	2017年度 予算	2016年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,501,245	1,500,927	318	
雑 収 入	300	300	0	
合 計	1,501,545	1,501,227	318	

支出の部

単位：円

科 目	2017年度 予算	2016年度 予算	差 異	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,545	1,501,227	318	
合 計	1,501,545	1,501,227	318	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

科 目	2017年度 予算	2016年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	13,815,347	9,379,032	4,436,315	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	5,000,000	2,500,000	2,500,000	貸付金額 9,863,353円
雑 収 入	100	1,500	-1,400	
合 計	18,815,447	11,880,532	6,934,915	

支出の部

単位：円

科 目	2017年度 予算	2016年度 予算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	2,400,000	2,500,000	-100,000	
予 備 費	0	0	0	
次年度繰越金	16,415,447	9,380,532	7,034,915	
合 計	18,815,447	11,880,532	6,934,915	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科 目	2017年度 予算	2016年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,134,201	2,134,183	18	
雑 収 入	50	350	-300	
合 計	2,134,251	2,134,533	-282	

支出の部

単位：円

科 目	2017年度 予算	2016年度 予算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,251	2,134,533	-282	
合 計	2,134,251	2,134,533	-282	

名古屋芸術大学近況報告

音楽学部 / 芸術学部芸術学科音楽領域

今まで音楽はコースごとの報告でしたが、今号より音楽領域としての近況報告となりました。宜しくお願ひ致します。さて今年度から芸術学部芸術学科音楽領域という新体制となり、早半年が過ぎようとしております。2～4年生は旧カリキュラムのため大きな変更はありませんが、新1年生は芸術系3学部が1つになった事により、広い視野や教養を身につける意味で他領域のカリキュラムを履修することが義務付けられました。この事で、音楽・美術といった1分野だけにとらわれないグローバルな感覚を身につけた人材が育っていく事を期待しています。

音楽領域は今回9つのコースとなりましたが、それぞれのコースとも昨年同様様々な催し(公開講座、演奏会等)を行っております。簡単に申し上げますと、4/27ピアノジャンルイ・マンサール氏公開講座(鍵盤コース)6/1ベーシスト堀川真理夫氏公開講座(ポップス・ロック&パフォーマンスコース)、6/29コンチェルトのタベ、7/13ピアノ植田克己氏公開講座(鍵盤コー

ス)、7/20マルチェッラ・レアール公開講座(声楽コース)、8/11ピアノサマーコンサート等。これらに関するしましては大学のホームページ上で公開する予定でありますので、そちらをご覧ください。特にこの4月から音楽領域のウェブサイトが充実し、また随時新しい情報をアップしていく予定であります。更に今後行われる予定の演奏会、公開講座等の情報も満載です。是非ご覧くださいようお願い申し上げます。

来年度より音楽領域に「声優アクティングコース」が新しく新設されます。これは声優やナレーターなど、将来声を職業として考えている方のためのコースです。その第1回目の説明会が7月22日に行われました。当日は受験を考えている学生が50人弱集まり、付き添いの父兄をあわせると80人位の参加者となり、注目の高さを実感しました。集まった学生達は、今後行われる授業(アニメのアフレコ)を実際に体験していました。更に今後数回説明会を行う予定であります。

音楽領域 主任 依田嘉明

美術学部 / 芸術学部芸術学科美術領域

美術領域では各コース様々な授業やイベントが展開されました。

日本画コースでは岐阜放送開局55年事業「ぎふチャンアートギャラリー」企画にて大学院生、研修生の展覧会が岐阜シティ・タワー43にて6月16日から7月23日まで開催されました。会期中にはラジオ、テレビ出演を通じて個々の作品内容を紹介しました。



また7月12日には芸術院会員の土屋禮一先生による特別講義が行われ、翌日は土屋先生から学生の作品を1点ずつ丁寧に講評して頂きながら、今後の意欲思考に繋がる好機となりました。



洋画コースでは7月13日に今年度特別客員教授の今村有策先生(トーキョーワンダーサイト前館長、東京藝術大学グローバルアートコース講師)が来校しました。「世界・東京のアートシーン」をテーマに特別講義が開催され、講義後は学生の各アトリエを巡回しながら、丁寧に一人一人の学生作品講評が行われました。



また実技授業ではヨーロッパ発祥で現在も息づいている伝統的な絵画表現であるスタンドグラスを2・3年生合同授業(5/23~5/31)の実習を通して学びました。特別講師として本学洋画コース卒業生でスタンドグラス作家の平岡和広さんに指導して頂きました。

アートクリエイターコースでは、デンマークと1999年から交流が続いており、これまでおよそ30名の卒業生や教員がデンマークで行われるアーティスト・イン・レジデンスに参加してきました。4月にデンマーク側の企画者であり、画家のSteen Rasmussen氏が来校して、学生対象のワークショップOHOC(講演)(4/11)と「ゼロ・リトグラフ講座」(4/12)が行われました。その後6月には松岡徹(美術領域准教授)と山本千晴(実技補助員)の2名がデンマークに派遣されアーティスト・イン・レジデンスに参加しました。帰国後7月には昨年派遣した卒業生2名も加わり、計4名でのデンマークでの制作報告展覧会「AFTER DENMARK 2017」がA&Dセンターにて開催されました。

美術領域 主任 須田真弘

デザイン学部 / 芸術学部芸術学科デザイン領域

2017年度は、かねてから準備していた芸術学部デザイン領域としての最初の学年で、1年生176名を迎えスタートしました。今回は、デザイン学部、デザイン領域の活動について、ファウンデーション及び各コースからの学内外で行っている活動の報告をまとめました。

・フレッシュマンキャンプ

本年度も1年生新学期のスタートの4月22日に、学生間及び学生と教員の親睦を深めるためフレッシュマンキャンプを行いました。知多での地引き網体験とバーベキュー、愛知県美術館での展覧会鑑賞を企画しました。みんなで一本のロープを引き、魚を採り、共に調理をする事で一体感が生まれました。展覧会もこれからデザインを学んでいく上で非常に参考になる内容で、みんなが熱心にスケッチを行っていました。



・ファウンデーション

本学デザイン領域の特徴であるデザイン基礎の授業を各専門コースに別れる前に行っています。その一環として、前期末の7月28日に、予め用意された材料(四六判原紙画用紙1枚)のみを使い、4~5名のグループに分かれ「10秒を計る道具」をつくる、ワンデーワークショップを行いました。このワークショップの目的は、グループ全員でアイデアをつくり、プロトタイプをすばやく繰り返し(作りながら考える、考えながら作る。)、より理想的な結果を得るといった過程から、アイデアを共有しながら複数でデザインプロセスを進めることの重要性を体験すること、また特定の課題と条件(この場合「10秒を計る」ことを限られた材料と時間で達成する)に対して、あらゆる方向からの解決策を模索するという、デザインの基礎的な視点を体験することにあります。



文芸・ライティングコース

今年4月に発足した文芸・ライティングコースでは、新入生が「文芸実技」を受講して書く技術を学び、実際に小説・絵本・シナリオ・キャッチコピーの創作を行った。これまでに提出された学生の作品は、後期の作品と合わせて編集し、レビュー展に向けて冊子にまとめる予定である。また、5月25日には、今年度の特別客員教授である北村想氏の新作『黒塚家の娘』を観劇し、後に本学の講義で北村氏のシナリオを精読した。北村想氏は、7月3日の「文学史」の授業でも「バックステージから観た演劇の創られかた」というタイトルでレクチャーを行った。6月と7月に開催されたオープンキャンパスには、デザイン領域で文芸・ライティングを学ぶことで小説家やコピーライターや編集者を目指したいと語る多くの高校生が訪れ、新入生が本学の授業で学んでいることを丁寧に紹介すると共に、これまで読んできた本や作家の魅力を語り、有意義な時間を過ごすことができた。



ヴィジュアルデザインコース

特別客員教授として招聘したグルーヴィジョンズの伊藤弘氏の特別講義が6月30日(金)B棟大講義室にて行なわれ、商品やイベントの企画、実際に店舗を出店したりするワークショップが行われています。



ヴィジュアルデザインコースの学生が参加したいくつかのコンペで、入賞するなど、授業で学んだ事が具現化されています。

●株式会社秋田屋が行なった、日本酒ラベルデザインのコンペティションにて、服部葵さんのデザインが採択され、商品化された。

●全国の高校生以上の学生を対象としたポスターデザインコンペティション「JAGDA 学生グランプリ2017」にて、臼田宣希さん・原瀬貴大さん・森川陽加さんの3名が入選した。

東京ミッドタウン・デザインハブにて展覧会も行われる予定です。

●津島市との官学連携授業として、ふれあいバスの利用促進のための企画提案に取り組み、津島市役所の方にご参加いただきプレゼンテーションを行ったり、「つしま あかり×デザイン プロジェクト」に参加し、尾張津島天王祭でにぎわう街の沿道を彩る、あかりのシェードのデザインを担当した。



イラストレーションコース

昨年度は絵本作家三浦太郎氏を特別客員教授として招聘し、特別講義として一般公開しました。また、こどもアイデンティティ「Je suis…」から「ぞうちゃん」までを、展覧会として本学アート&デザインセンターで行ったり、大学生対象ワークショップ 裏表絵本(絵本の最小単位 ステンシルの技法を使って)、子ども向けワークショップ「子どもアイデンティティ」などの活動を行い、それらを1冊の冊子としてまとめました。



メディアコミュニケーションデザインコース

前期の産学連携活動としては、OKB(大垣共立銀行)総研からの依頼を受けて本学が受託したプロジェクトがある。9月にオープンするテラスエ納屋橋(名古屋市中区)に建設する新店舗の映像マルチディスプレイのコンテンツを制作するというもので、MCDとMMDの3年生が3~5名のグループに分かれ10種の映像作品を制作した。あらかじめ提示されていたテーマ(変わる・照らす・水・感動など)に基づいて検討したコンセプトや試作映像を中間プレゼンで発表し、OKB総研の審査員

7名からの感想や要望を受け最終形に向けて制作していく。2年生は〈ホワイトボード、黒板、チョーク製造株式会社 馬印〉新商品の使い方提案プロジェクトを進めている。



特別講義は現代美術作家・渡辺英司氏による現代造形研究ワークショップが実施された。新しい概念に触れるこの課題の成果をデザインワークに生かして欲しい。



メディアデザインコース

メディアデザインコースでは、毎年春に学生の研究・制作に役立つための学外研修を行っている。今年度は5月に3,4年生合同で京都研修を行い、市内各地で展示される「京都国際写真祭」を訪れ、写真メディアと展示について学んだ。また2年生は佐久島を訪問し、その島で感じたことを収集して記録した。その後大学で自分だけの「佐久島の肖像」をかたちづくる制作に取り組んだ。



インダストリアル&セラミックデザインコース

インダストリアル&セラミックデザインコースでは、いくつかの企業と産学協同のプロジェクトを行っています。

ナガサキ工業株式会社と連携し、「鉄素材を使ったギフト商品の新たな提案」をテーマに8週間で工場見学からデザイン展開を毎週行い、8週目にプレゼンテーションを行った。

その作品の中から14点を選抜し、10月4日～10日まで名古屋栄三越百貨店において、作品発表展示会を開催し、評価の高い作品を商品化するデザイン活動を行っている。

鉄の素材の良さに着目しながら線材だけで制作できるものなど、加工や生産性も兼ねて計画し、新生活用の贈り物や、クリスマスギフト、ガーデン用品、アウトドア用品など様々なデザイン案が提案された。



シヤチハタ株式会社連携し、大学生が使いたい、年賀状を出したくなる、親子のコミュニケーションを深める「スタンプ・筆記具」を企画しプレゼンテーションを行いました。

ターゲットの明確さ、ニーズの強さ、ニーズに対するアイデアの満足度(使用性)、商品のデザイン性(新規性)発表の分かりやすさ、などの基準により審査の結果、最優秀デザイン賞 棚瀬博之くん、シヤチハタ賞 濱田杏子さん、デザイン賞(3名) 富永康幸くん、矢田晃穂さん、中野みなみさん 以上5名の作品が選ばれました。



カーデザインコース

カーデザインコースでは特別客員教授として、木村徹氏を招聘し、デザインワークショップ「I DO U」、および、公開講座「クルマは変わる」を開催しました。

ワークショップの「I DO U」は、10年後に自分が使いたい移動のための道具をデザインする、という内容で、30名が5つのグループに分かれて、未来の移動のための道具・乗り物を考えてディスカッションを行い、スケッチやモックアップを作ることで考えを視覚化しました。木村氏は、終始にこやかに発表を聞き、豊かな発想力を高く評価するコメントをし、短時間でもフルスケールでモックアップまで制作できたことは大きな意義があり、このように濃厚な時間を過ごすこと自体が今後の大きな糧になること、「移動」することは人間の本能であり、移動するという行為の意味をしっかりと捉えて欲しいということ、デザイナーにとっては夢を見るのが非常に大事であり、夢の見方を覚えて欲しい、と講評会をまとめました。

公開講座「クルマは変わる」会場には、ワークショップに参加した学生、一般の学生に加え、自動車メーカーに勤める現役のデザイナーなど社会人も数多く来場しました。デザインの原点として、学生に「デザインとは何か?」という問いかけをし、デザイナーが考えるべきことの要点を明らかにしていきました。「テーマは何か」「テーマの理由」、この2つがプロジェクトにもっとも重要な事柄であることを説明し、どうやって実行するかが仕事の難しさでありポイントになると説明しました。



スペースデザインコース

スペースデザインコースでは空間や家具をデザインする上で過去に作られたものから学ぶべき事がたくさんあるということから、毎年春、秋に先端事例や建築物の見学会を行っており、今年度はライフスタイルデザインコースとともに、飛騨高山に「飛騨産業」の工場見学、「Fabcafe・飛騨の森でクマは踊る」に行きました。



また、授業の一環としてコンペへの参加や産官学の共同の取り組みも積極的に行っています。

その事例として、市民参加型の図書館となるよう様々な取り組みを提案している清須市立図書館が、この地で55年にわたり操業を続け「ぜひ一緒にこの地を盛り上げたい」という想いを持つキリンビール名古屋工場の製品である「ビール」に焦点を当てたユニークな図書コーナーを開設することで、図書館の利用拡大と地域の活性化を目指したものです。この取り組みが進行する中で、「このコーナーの棚を学生対象のコンペとしデザインしてもらってはどうか」というアイデアが出され、スペースデザインコースの3,4年生の学生たちが参画することになり、官民学のコラボレーションにより「日本一ビールに詳しくなるための図書コーナー」が開設されることとなりました。本棚は、ビールをイメージしたユニークなデザインで、スペースデザインコースの内田克憲さん(2017年3月卒業)と加藤友浩さん(2016年度研究生)が考案し、図書館利用者の前でプレゼンテーションを行い、そのコンペで1位となったデザインです。



メタル&ジュエリーデザインコース

今年度もメタル&ジュエリーコースの学生が普段自分たちがどんな作品を制作しているのか知ってもらい、意見をもらったり、自己確認する事で次回以降の制作に繋げていくため、テキスタイルデザインコースと共同で、アート&デザインセンターと和室を使用し(今年は7月4日~7月26日)、「素材展」を行いました。たくさんの方が展覧会を見に来られ、そこにいる制作者である学生と作品についての意見交換がありました。



テキスタイルデザインコース

テキスタイルデザインコースは、2005年より大学近郊の産地と産学連携プロジェクトを行ってきた。昨年度より新たに一宮市の尾州毛織物産地とのプロジェクトを開始、東京青山での受注展示会に出品した。そして今年度、4年生加藤彩花さんデザインのテキスタイルが有名アパレルブランドで採用された。



2017年度特別客員教授は、齋藤統氏(Yohji Europe 社、Joseph Japon 社、Issey Miyake Europe 社社長を歴任、フランス政府よりフランス芸術文化勲章を授与)を招聘しました。



5月23日(火)西キャンパスのテキスタイル工房で、齋藤統氏の特別講義「パリから見た日本のテキスタイルのポテンシャル」を行った。産地でローカルなテキスタイルデザインを学ぶ本コースの学生が、世界のファッション産業の中心地であるフランスで活躍されてきた齋藤統氏から、グローバルなものを見方を知ることが目的です。

後期には、有松絞り産地、尾州毛織物産地で活躍する卒業生と齋藤統氏がディスカッションするシンポジウムを開催する予定です。

ライフスタイルデザインコース

時代の流れのなかで変化する私たちの日常生活をしっかりと把握し、現在に真に必要なとされるデザインの在り

方を模索していく。そのためのリサーチや思考、編集を重視するライフスタイルデザインコースでは、私たちの基層的な暮らしや思考、振る舞いの細部を観察することと同時に、現在進行形の世界や地域で何が起きているのか把握することも大切にしています。今期は、デジタルアプリケーションと伝統的な技術を融合させ、地域や世界へと開かれたモノづくりの場を作っている、「Fabcafe・飛驒の森でクマは踊る」や、高い木工加工技術を継承しながら、新しい家具づくりに挑戦している「飛驒産業」の見学など、日本の森林問題と地域とをつなぎ考える学外授業も行いました。

デザイン領域 主任 駒井貞治



芸術学部芸術学科芸術教養領域

興味から教養へ、そして君は何者にもなれる

——芸術教養領域の5ヶ月

「興味は、やがて教養という力になる。」

芸術教養領域は、今年4月に開設されたばかりの新しい領域です。本学の改編と同時的に構想が進められ、芸術学部の一領域として始まりました。コースとしては、リベラルアーツコースの一コースとなっています。

教員は茂登山と早川知江先生が専任、津田佳紀先生と茶谷薫先生が兼任として指導にあたっています。他に、王昊凡助手が授業と教務・学生にかかわるサポートを、また、杉浦倫子事務補佐が、領域全般の事務を担当しています。

芸術教養では三つのフレーズを使っていて、そのひとつが「興味は、やがて教養という力になる。」です。音楽、アート、サブカルチャーやデザイン、あるいは異文化といった、高校生や受験生が感じているさまざまなモノやコトへの興味は、未来へのスタートラインで、その興味を教養という力に変えた時、世界は限りなく大きく広がっていくとの趣旨です。

他の領域が、専門性を高めることをめざし、そのための実技が授業のコアとなっているのに対して、この領域

では、芸術大学でこそ学べる教養を修得することを目標としています。

初年度の入学生は多くはなかったのですが、みな意欲にあふれ、個性的な学生です。「音楽、美術とデザイン、現代の多様な文化と社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかし、地域と社会がかかえる課題を、協働して解決していく意欲のある人を求める。」と掲げたアドミッションポリシーに依っての入学と手応えを感じています。

領域では、カリキュラムポリシーとして「視聴覚メディアと言語、情報のリテラシーを修得し、少人数ゼミとプロジェクト授業を通して、世界と現代社会の問題を発見・設定して、その解決に取り組むスキルを修得できるカリキュラムを編成している。」と謳っています。その具体的な特徴を挙げると、次のようです。

- ・ヴィジュアルとサウンド、英語と日本語、情報の5つのリテラシーを学ぶ
 - ・プロジェクト型授業とゼミで、社会の課題を見つけ、その解決法を提案する
 - ・外部から招く多彩な講師の講演を聴き、見識をひろげる
- 言うまでもなく、芸術や文化などへの深い理解は、ク

リエイティブな発想のヒントになり、情報や言語を使いこなす力は、発想を社会でカタチにするためのツールになります。いろいろな興味を楽しく深めながら、現代社会で求められる教養を学び、幾重もの知のレイヤー、知層を築くことで、社会の幅広い分野で活躍するための土台が育まれます。

「芸術×教養」のスタートアップ

領域の第二のフレーズ「芸術×教養＝新しい発想」の通りに、芸大で教養を教える、教養を芸術に接しつつ学ぶ、そんな試みが始まり、最初の半期が終わりました。はじめに領域共通科目についてです。

5つのリテラシーの内、「ヴィジュアルリテラシー」と「サウンドリテラシー」が一年の前期中で開講されました。前者を担当したのは、デザインディレクターとして活躍する谷野大輔先生です。カメラ・オブスクラをつくって写真を撮ったり、大理石でネームを彫ったりと、見る目を手とつなげて育てようというものです。後者のサウンドは、アーティストとしても活動する日栄一真先生の担当です。音と音楽について体験的に考えながら授業は始まり、Macを使ってのサウンドづくり、DJと進みました。

これらの実習授業は、4月から助手として赴任している王昊凡氏がサポートしています。社会学を専門とする王氏は、名古屋大学文学部／大学院環境学研究科出身の研究者で、これまでの名芸大の助手たちとはスタンスが異なり、領域にも良い刺激となっています。年齢的に学生たちと近いこともあって、良い相談相手になっています。

演習「異文化体験」(茶谷)では、野外民族博物館リトルワールド、昭和日常博物館、名古屋市美術館(「異郷のモダニズム―満洲写真全史―展)と大須観音・大須商店街をそれぞれ日帰りで観察しました。リトルワールドへは、領域のスタッフ、研究生も同行し、世界各地の文化の一端にふれてきました。いわゆる異文化に限ることなく、高尚な文化から低俗とされる文化、文化の時代変化などを学修しています。

「視覚文化」(茂登山)では、講義だけでなく、学生たちが初めて本格的に使うこととなるコンピュータとネットワーク、プレゼンテーションやカメラを使った記録など、教養のためのツールへのエントリーもおこないました。

学生のチュートリアルを、前後期各二回ずつ、チューター教員を変えておこなうこととしました。その第1回は、4月27日に、早川先生が担当しました。高校生の時とは大きく変わった学生生活ですが、「大学は聴くだけの授業ではないので面白い」などと、一様に芸術教養領域へ進学したことへの満足感を表明していました。

続いて、他領域にもひらかれている横断科目から、芸術教養領域教員が担当したものを紹介しておきましょう。

「人類生存のための教養」は、芸術教養領域の授業を担当する名芸大の専任教員によるリレー授業です。それぞれの専門分野である情報学、言語学、メディア論、英語、生物学等の分野から、教養と人類の生存を視野に入れつつ講義がおこなわれました。加藤智也先生の「教養としてのプログラミング」では、人類生存のために、なぜプログラミング的思考が必要なのか、わかりやすく説かれました。学外授業としては、弘法さんの縁日に合わせて、5月21日に覚王山を訪れました。意外にも、ほとんどの受講生たちは行った経験がなかったようで、参道のにぎわい、錠薬師の円空仏、覚王山アパートと、楽しんでいました。

「海外研修」(茂登山)は、つい先日の8月17日に終えたばかり、12日間にわたるヨーロッパ滞在です。芸術教養の学生全員をはじめ、22人が参加しました。滞在先は、ドイツのミュンスターとカッセル、イタリアのヴェネツィアの三都市で、いずれもこの夏に世界的に知られるアートフェスティバルが開かれています。特に「ミュンスター彫刻プロジェクト」は、今年が10年に一回となる開催年です。街を歩きながら、野外彫刻に接する体験は、素晴らしいものでした。担当教員が2回にわたって都市とアートについて講義した後、受講生は各自調査するテーマを決めて、現地に臨みました。その成果発表は、9月14日の午後に予定されています。

領域の学生たちは、芸術についての関心が高く、全員が音楽領域の副科を履修しました。週に一回の個人レッスンは、担当の先生方の適切な指導もあって、学生たちにはたいへん好評でした。期末の発表にむけ、良い緊張感が伝わってきました。領域をこえて授業が履修できるということは、芸術学部として統合されたことの大きな成果のひとつでしょう。

7月23日には、茶谷先生が第2回目のチュートリアルをおこないました。前期を終えての感想や、授業や学生生活全般について話しました。授業によっては得意不得意もあるのですが、互いに刺激を与えていて、良い意味のライバルになっているように感じられました。

前期授業が終わる7月28日には、教員と学生で「終わりましたね」の会をひらきました。場所は、谷野先生のご好意で、そのカフェ、Phonon 豊橋店を使わせてもらいました。食べ物と飲物は、異文化(と伝統文化?)をテーマにみなで持ち寄りました。中国から留学している研究生がつくった中華風手羽先、学生のお母さん手づくりの豊橋風ちらし寿司、無国籍?サラダ、・・盛り沢山のご馳走、そしてデザートは西キャンパス近くで販売されていたスイカ、これも美味でした。

芸術教養領域の9月

すぐ先のことですが、芸術教養領域の予定について書いておきましょう。

「異文化体験」の最後の行先は、白鷺城の名で知られ

る、世界遺産で国宝の姫路城とその周辺です。9月7日から9日にかけて二泊三日で訪れます。戦時の歴史を学びつつ、観光客誘致のためのスポット、そして一般の姫路市民の暮らしも見てくる予定です。播州弁(方言)や海産物をはじめとする様々な文化を、学生が自分の視点で見つけ出し、自身の住む町、住んできた地域との差異と共通点を分析し、レポートにまとめ、それを口頭でも発表することになっています。

その後に、「ミニレビュー」(仮称)として、前期の実習授業の成果をスタジオに並べることにしました。当初は、2年次の夏休みに「レビュー」を開講する予定でしたが、学生の成果をはやく共有しようと、急ぎよスケジュールに組み入れました。9月15日にプレゼンをし、18日から22日まで展示、その間に後期に授業を担当する先生方にも見てもらおう、という狙いです。

特別客員教授である、戸田山和久名古屋大学教養教育院長/情報学研究科教授の講演を9月29日に予定しています。戸田山先生は、科学哲学の第一人者として、『「科学的思考」のレッスンー学校で教えてくれないサイエンス』『哲学入門』『恐怖の哲学ーホラーで人間を読む』などの他、共著・翻訳は多数にのぼります。長年にわたって、教養教育の重要性を説いてこられ、現在は、名古屋大学でその責任者として務めています。また、筑摩書房のPR誌『ちくま』で、エッセイ「とびだせ教養」を連載中です。世界には、自分がまだ知らない、はるかに広い領域が広がっていることを知ることこそが(教養)だ、というこのエッセイからが、2017年5月24日付の朝日新聞のコラム「折々のことば」(鷲田清一)でも引用されました。講演は、市民にも開かれた公開講座としておこないます。

「何者にもなれる君へ。」

芸術教養領域のディプロマポリシーは、「現代のリベラルアーツを修得し、芸術と文化を理解する教養あるジェネラリストとして、現代社会でひろく活躍できる知見と技術、思考力を備え、卒業論文審査に合格した学生に対して卒業を認定する。」です。実際に学生たちが卒業するのは、4年後の2011年ですが、実際の進路は、その一年前、3年後くらいには見えてくるものと思います。はたしてそれが、このポリシーにふさわしい場であったのかどうか、領域のもうひとつのフレーズ「何者にもなれる君へ。」のごとくに学生が旅立つのか、問われることになるのでしょうか。ニチレイの浦野光人氏をはじめ、社会で教養が重要であるとの認識をもつ各界の方たちから、応援メッセージをもらってきました。それが、教育の質、ディプロマを高めていくことにもなると考えています。

最後になりますが、8月19日のオープンキャンパスでは、百名近い高校生らが芸術教養領域の話の間こうと名芸大に足を運んでくれました。領域の性格上、芸術教養には、人目をひく華やかさはありませんが、それでも受験生の間に少し浸透しつつあるようです。広報を担当している久保愛さんの情報収集と丹念な高校訪問、そして努力を惜しまぬ教員たちの学内外での講演や公開レクチャー、学生たちの教育環境への満足、それらの成果が少しずつですが、実を結びつつあるようです。

受験希望者と話していて気づくのは、ご家族やその親しい知り合いに芸術関係の方がおみえになるケースが多いことです。アドミッションポリシーを支えてくださるのは、やはりそのような方たちだと、あらためて認識しています。まだ始まったばかりで、その形が見えてくるまでにまだまだ時間がかかる芸術教養領域ですが、スタッフの熱意は人後に落ちないと確信しています。これからもご支援、ご鞭撻をいただければうれしいです。

芸術教養領域 主任 茂登山清文



人間発達学部



入学式の様子

人間発達学部は開設されて11年目を迎えました。今年度から二学部構成となり、芸術大学の中の「教育・保育系」学部という特色を活かした成果がこれまで以上に始まっています。昨年度から実施したプレゼンテーション型入試により楽器演奏等に秀でた学生が今年度は目立っています。その学生たちの目的意識に応えるため、芸術学部音楽コースの学生と共にウィンドアンサンブルでクリエ幼稚園対象の演奏会に参加したり、4号館多目的ホールでサマーコンサートも開催しました。

サマーコンサートでは声楽、トランペット、バイオリン、ピアノ等約10組の演奏が披露され芸術学部のように完成されたものではありませんがのびのび生き生きと演奏されました。今回のコンサートでは1年生よりも上級学年学生の参加が目立ち、芸術面を得意とする学生が均等に各学年揃っていることが改めて分かりました。全ての学部学生が芸術に何らかの関心があり夫々特技を持っているはずで、芸大ならではの芸術的環境を活かし、それらを披露する場を音楽面だけでなく多方面に広げ学部学生の様々な期待に応えられる機会をできる限り考えていくよう努力いたします。



サマーコンサート

学部就職委員会が機能し始めました。昨年度の就職率は98%と他大学同一学部引けを取っておらず、特に公立保育園採用試験においては延べ23名の学生が合格しております。今年度も途中経過ですが、公立保育所採用一次試験に多くの学生が合格し、特に小学校教諭一次採用試験においては男子学生の合格が目立っております。さらに既卒合格も数多く報告されております。

改編委員会の答申を受けて、2018年度入学生より、「子ども・ファンデーション」(1年次)、4つのコース制「保育・幼児教育」「学校教育」「発達福祉」「子ども芸術」(2年次選択制)を導入し、より丁寧できめ細やかな指導を行います。

これは今まで10年間の三つの免許・資格を取得するシステムをベースにし、「子ども・ファンデーション」「子ども芸術コース」に見られるように、より専門性を生かしさらに芸術学部との連携を強化発展させるものです。ご期待ください。

在籍学部学生は相変わらず元気いっぱい楽しく意欲を持って学生生活を過ごし、自分の将来の目的達成に向けて頑張っております。



ゼミの様子

学部行事

(1)新入生オリエンテーション

4月4日～5日に、美浜少年自然の家で、人間発達学部子ども発達学科の新入生オリエンテーション合宿を行いました。場所は「愛知県美浜少年自然の家」で例年、新入生オリエンテーション合宿は、4年生のスタッフが、企画・進行等を担当します。全体会では、教員・4年生スタッフの紹介、附属クリエ幼稚園長でもある鎌倉博先生の講義や4年生から新入生へのメッセージがありました。全体会のあとは、1年次のゼミナール「入門演習」のグループに分かれてゼミ活動です。楽しい時間を過ごすときも、新入生にとって4年生スタッフは頼もしい存在でした。夜のゼミ活動では、My湯呑作りと「なぜ、保育者・教育者を目指したのか」というテーマで討論をしました。合宿のしめくくりはゼミ発表です。前夜ゼミ活動で討論したことを、歌にしたり寸劇にしたりと、夫々工夫して披露しました。



(2)文化創造セミナー

6月15日(木)8号館体育室で、文化創造セミナー「笑顔があふれる遊びの時間」が行われました。今回のゲストは、絵本作家・イラストレーター・あそび作家の浦中こういち氏を迎えて開催されました。講師の口ずさむリズムに合わせて、学生たちが手足や身体を動かす形式の遊びで、リズムに乗ってパフォーマンスをする内容でした。学生たちは、座った姿勢で縦に列を作り、前の人の肩に手を当てて、揉んだり叩いたりして遊びました。次に数人でグループを作り、二人で一組になって講師の歌やギターの演奏に合わせて、背中に触れたり身体をひねったり、両足を持ち上げて身体をゆすったりする遊びに挑戦しました。後半は「忍者に変身お面作り」でスタートしました。新聞紙で折り紙をして鋏を使ってお面を作り、それを被って忍者に変身する遊びです。浦中氏の折り方の説明と指導を受けながらお面作りを行いました。そして、全員が出来上がったお面を被って立ち上がり、様々なパフォーマンスをしながら忍者になって楽しく遊びました。最後は、ホワイトボードに貼られたいろいろな形のパネルの中で、指定された形のパネルを使って、制限時間内に自分のイメージしたものを作る遊びが行われました。こうして、子どもも大人も楽しめる様々な遊びを体験してセミナーは終了となりました。



人間発達学部長 教授 星野英五

学務部報告

7月28日に前期授業が終了し、8月4日には前期試験を終え、学生諸君は待望の夏休みがスタートしました。私が大学生の頃は、7月20日頃から9月末までの2ヶ月以上もある長い夏休みでしたが、現在の学生諸君は、9月18日から後期の授業が開始されますので、1ヶ月程度短くなっています。このことは、平成20年の出された中央教育審議会の答申「学士課程教育の構築に向けて」の中で、単位制度の実質化が取り上げられ、

日本の学生の学習時間が短く、授業時間外の学修を含めて45時間で1単位とする考え方が徹底されておらず、学習時間の実態を国際的に遜色ない水準にすることを目指した総合的な取組が必要とされたことを受け、各大学が前期・後期それぞれ15回の授業回数の確保を徹底したことにあります。今から10年前は、前期・後期の授業回数がそれぞれ13回程度であることが一般的であったことを考えますと、社会の要請を受け、単位の実質

化・学習時間の確保の取り組みが進んできたことを実感しています。短くなったとはいえ、1ヶ月以上の夏休みです。なんとなくアルバイトをして過ごしてしまうのではなく、①旅行に行く、②インターンシップをする、③資格を取得する・そのための学習をする、④勉強や研究に取り組む等、日頃できないことをやる充分な時間があることを忘れずに良い経験を積み重ねて欲しいと思います。

さて、今回は、後援会の皆様に、名古屋芸術大学の昨年度の就職状況・キャリア支援及び国際交流についてご報告をさせていただきます。

まず2016年度卒業生の就職状況ですが、音楽学部94%、デザイン学部88.9%、美術学部90.4%、人間発達学部98%、大学院音楽研究科100%、美術研究科90%、デザイン研究科66.7%、人間発達研究科100%でした。学部別の特色としては、音楽学部では、公立学校教員、音楽講師、奏者等、デザイン学部では、デザイナー、モデラー、開発企画等、美術学部では、イラストレーター、デザイナー、フォトグラファー等、人間発達学部においては、小学校幼稚園教諭、保育士等、それぞれの専門性を活かした就職ができています。また、一般企業においても、芸大生の持つ「創造力」「発想力」「企画力」「プレゼンテーション能力」等が注目されており、先輩学生の活躍もあり、好調な就職に繋がっています。

キャリア(就職)支援といたしましては、1・2回生

のキャリアガイダンス、各種資格対策講座から始まり、3回生を対象とした「キャリアプランの作成」「自己分析」「企業研究」「履歴書・エントリーシートの書き方」「筆記試験対策」「面接対策」「スーツの着こなし」「メイクアップ」「ビジネスマナー」等、合計33回のガイダンスを実施し、加えて個人面談、模擬面接、エントリーシートの添削指導などを行い、手厚くサポートをしています。

国際交流については、現在、アメリカのデンバー大学、イギリスのブライトン大学、ファルマス大学、ドイツのプレーメン芸術大学、フランスのエコール・ノルマル音楽院を始め23の海外姉妹校と国際交流を行っています。本年度は、6大学から8名の交換留学生を受け入れており、本学における学習、また日本文化の体験等の交流が活発に行われています。本学からの留学としては、ブライトン大学等に現時点で5名の留学が予定されています。また、毎年、デンバー大学における短期語学研修を実施しており、昨年度は8名の学生が参加し、大変好評でした。

最後に、後援会の皆様の平素からのご支援に対して心からの感謝を申し上げます。今後も皆様のご意見をいただきながら、学務部の運営に努めてまいります。ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学務部長 山田芳樹

大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号	
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部 / 芸術学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)	
成績について 証明書発行について	教務課		
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課		
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課		
教員免許・学芸員資格について	教職センター(実習指導室)		
交換留学について	国際交流センター(国際交流センター室)		
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)		0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課		東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター		西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)		東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報に含まれる内容に関しては、ご子の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

2017年度

入学式

桜の花がほころび始めた4月1日(土)、2017年度名古屋芸術大学入学式が、西キャンパス体育館で行われました。

空は花曇り、小雨がちらつくあいにくの天気となりましたが、大学院入学生、学部入学生を迎え、観覧の保護者の方々などを含め多くの皆さまにお集まりいただきました。

会場に来賓の皆さまをお迎えし、開式に先立ち式前演奏として名古屋芸術大学ウィンドオーケストラ(指揮:竹内雅一教授)により、木内涼作曲の「マーチ・シャイニング・ロード」が演奏されました。

開式のことばで入学式が始まりました。始めに、竹本義明学長から学部・大学院入学生の「入学許可」が宣言されました。



続いて、学長が大学を代表して出席者に式辞を述べられました。お祝いの言葉とともに、今年度から新たに統合、設置された芸術学部に関してや名古屋芸術大学の教育理念についてのお話がありました。BORDERLESSという新しい概念、現代社会のグローバル化に向かい、領域を超えて事物を複合的に捉え、広い視野を持った上でそれぞれの専門性を高めて欲しいと述べられました。

竹本学長挨拶

学長式辞に続き、入学生代表による宣誓が行われました。大学院を代表してデザイン研究科の三浦寛文さんと、学部を代表して芸術学部音楽領域の土田彩華さんが力強く宣誓を行いました。



入学生宣誓

宣誓に続き、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏からの挨拶、さらに来賓の北名古屋市副市長 日置英治氏から祝辞をいただきました。



川村理事長挨拶

この後、式典は、ご出席いただいた来賓の皆さまをご紹介し、最後に本学教員役職者を紹介して無事にすべての式次第を終えました。



北名古屋市日置副市長祝辞

入学式の最後には、再び、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラによる新入生歓迎演奏が行われました。曲は、フィリップ・スパーク作曲の「サウスエンド・セレブレーション」。芸術大学に相応しい高い水準の演奏で、力強い音が会場を満たしました。新入生を歓迎し、意欲を喚起するような演奏は、新たな始まりを予感させるように式典に鮮やかな彩りを添えました。



新入生歓迎演奏

入学式終了後は、東西両キャンパスの学生支援課長の司会進行で、新入生を対象とした全体オリエンテーションが実施されました。始めに、萩原周芸術学部長から、お祝いの言葉と、今年度からの学部統合と大学改革の目的について説明。密度の高い学生生活を送って欲しい、東キャンパス、西キャン



萩原芸術学部長挨拶

ス、一層、緊密な関係を期待すると述べられました。次に、星野英五人間発達学部長から、お祝いの言葉と芸術大学に設置されている人間発達学部の意義についてのお話があり、学部としては分かれているものの芸術学部とともに連携して素養を高めて欲しいと述べられました。

続いて、学生支援課から、学生生活のサポート役として学生支援課があり、学生を支援する役割と個々に合わせた対応をしていることなどの説明があり、奨学金制度やその他の支援制度の紹介がありました。

この後、音楽学部同窓会副会長として名古屋芸術大学ウィンドオーケストラの指揮にあたった竹内雅一教授、美術・デザイン学部同窓会会長 中島弘敬氏、人間発達

学部同窓会会長 菅野謙一氏からお祝いのスピーチがありました。自分を育ててくれた大学時代を懐かしみつつ、大学在学中だけでなく卒業後も長く支援を続けていることや大学生生活を充実させて欲しいと後輩達に力強いエールを送りました。

最後に、学生支援課より在学証明書・通学証明書などに関する事務連絡がありオリエンテーションを終了しました。

入学式、新入生全体オリエンテーションと同時に、B棟ギャラリー、X棟ギャラリーにて、「デザイン・レビュー選抜展」を開催しており、訪れた保護者やオリエンテーションを終えた新入生らは作品を見学し、それぞれに大学生活に思いを馳せているようでした。



■2017年度学生数

2017年5月1日現在 **総学生数 1,914人**

学 部	学 科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
芸 術 学 部	音 楽 領 域	32	74	106	/	/	/	/	/	/	/	/	/	106
	美 術 領 域	11	64	75	/	/	/	/	/	/	/	/	/	75
	デ ザ イ ン 領 域	56	120	176	/	/	/	/	/	/	/	/	/	176
	芸 術 教 養 領 域	1	3	4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4
	芸 術 学 部 小 計	100	261	361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	361
音 楽 学 部	演 奏 学 科	0	1	1	8	29	37	7	36	43	7	44	51	132
	音 楽 文 化 創 造 学 科	1	1	2	23	55	78	27	38	65	17	31	48	193
	音 楽 学 部 小 計	1	2	3	31	84	115	34	74	108	24	75	99	325
美 術 学 部	美 術 学 科	0	5	5	23	57	80	27	67	94	27	64	91	270
デ ザ イ ン 学 部	デ ザ イ ン 学 科	3	2	5	57	137	194	62	111	173	46	142	188	560
人 間 発 達 学 部	子 ども 発 達 学 科	17	60	77	18	50	68	23	72	95	31	72	103	343
学 部 生 合 計		121	330	451	129	328	457	146	324	470	128	353	481	1859

研 究 科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音 楽 研 究 科	2	7	9	5	5	10	19
美 術 研 究 科	3	5	8	2	15	17	25
デ ザ イ ン 研 究 科	4	1	5	2	0	2	7
人 間 発 達 学 研 究 科	1	1	2	1	1	2	4
大 学 院 生 合 計	—	—	24	—	—	31	55

2017年度 年間行事予定表【音楽学部/音楽領域/芸術教養領域】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	土	入学式
	3	月	オリエンテーション(4/3~4/8)
			↓
	6	木	健康診断
	8	土	
	10	月	前期授業開始
	29	土	休校 昭和の日
5月	1	月	休校 開学記念日
	2	火	休校 臨時休校日
	3	水	休校 憲法記念日
	4	木	休校 みどりの日
	5	金	休校 こどもの日
	6	土	休校 臨時休校日
	21	日	後援会総会・教育懇談会
	29	月	教育実習(5/29~6/17)
6月	10	土	オープンキャンパス(全学部)
	17	土	↓
	23	金	前期実技試験曲目提出期間(6/23~7/6)
7月	6	木	↓
	16	日	オープンキャンパス(芸術教養・人間発達)
	17	月	海の日 授業日
	31	月	試験期間(7/31~8/2)
			↓
8月	2	火	↓
	3	木	芸術学部・音楽学部実技試験(8/3~8/4)
	4	金	↓
	5	土	音楽講習会(8/5~8/8)
			↓
	7	月	集中講義期間(8/7~8/10)
	8	火	↓
	10	木	↓
	11	金	休校 山の日
	18	金	前期試験合否発表(13:00)
	19	土	オープンキャンパス(芸術教養・人間発達)
21	月	研究生考査	
23	水	追再試験(8/23~8/25)	
		↓	
25	木	↓	
31	木	前期追再試験合否発表(13:00)	
9月	3	日	AO入試
	15	金	後期履修登録
	18	月	後期授業開始(敬老の日)
	20	水	前期卒業判定会議
	23	土	休校 秋分の日
	27	水	前期卒業式
	30	土	オープンキャンパス(全学部)

月	日	曜日	後期行事予定	
10月	4	水	前期卒業式	
	9	月	体育の日 授業日	
	14	土	超領域入試	
	19	木	防災訓練	
	27	金	芸大祭(10/27~10/29)	
			※休講	
	29	日	ミニオープンキャンパス	
	30	月	芸大祭後片付け 休講	
	11月	3	金	文化の日 授業日
		11	土	指定校推薦入試
22		水	休校 学院創立記念日	
23		木	勤労感謝の日 授業日	
24		金	後期実技試験曲目提出期間(11/24~12/7)	
			↓	
12月	7	水	↓	
	16	土	自己推薦入試(芸術教養)	
	23	土	天皇誕生日・オープンキャンパス(芸術教養) 音楽講習会	
	24	日	音楽講習会	
	26	火	音楽講習会	
	29	水	冬期一斉休業期間(閉校)(12/29~1/3)	
			↓	
1月	3	月	↓	
	8	月	休校 成人の日	
	18	木	実技試験期間(1/18~1/21)	
			↓	
	21	日	↓	
	22	月	後期試験期間(1/22~1/24)	
			↓	
2月	24	水	↓	
	25	木	補講集中講義期間(1/25~2/2)	
			↓	
	2	金	↓	
	4	日	大学院入試	
3月	5	月	一般A日程・社会人・留学生・センター試験前期入試	
	6	火	一般A日程・社会人・留学生・センター試験前期入試	
	7	水	後期試験合否発表(13:00)	
	10	土	追再試験	
	11	日	休校 建国記念の日	
	12	月	振替休日	
	13	火	追再試験	
	14	水	追再試験	
	20	火	追再試験合否発表(13:00)	
	28	水	卒業判定会議	
3月	7	水	進級判定会議	
	12	月	研究生考査	
	20	火	卒業式	
	21	水	春分の日	
	25	日	一般B入試	
	28	金	新年度オリエンテーション予定(3/28~3/29)	
	29	土	↓	

2017年度 年間行事予定表【美術学部/美術領域/デザイン学部/デザイン領域】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	土	入学式
	3	月	オリエンテーション(4/3~4/8)
		↘	
	8	金	↓ 健康診断・新入生歓迎会
	10	月	前期授業開始
5月	29	土	休日 昭和の日
	1	月	休日 開学記念日
	2	火	休日 臨時休校日
	3	水	休日 憲法記念日
	4	木	休日 みどりの日
	5	金	休日 こどもの日
	6	土	休日 臨時休校日
6月	21	日	後援会総会・教育懇談会
	10	土	オープンキャンパス
7月	16	日	オープンキャンパス
	17	月	海の日 授業日
	22	土	AO入試第1回体験授業
	29	土	AO入試第2回体験授業
	30	日	一日芸大生
8月	31	月	試験期間(7/31~8/2)
		↘	
	2	水	↓
	3	木	集中講義期間(8/3~8/10)
		↘	
	10	木	↓
	11	金	休日 山の日
	18	金	前期試験合否発表(13:00)
	21	月	研究生考査
	23	水	追再試験(8/23~8/25)
	9月		↘
25		金	↓
31		木	前期追再試験合否発表(13:00)
9月	3	日	AO入試
	14	木	後期オリエンテーション
	15	金	後期履修登録
	18	月	後期授業開始(敬老の日)
	20	水	前期卒業判定会議
	23	土	休校 秋分の日
	27	水	前期卒業式
	30	土	オープンキャンパス(全学部)

月	日	曜日	後期行事予定
10月	9	月	体育の日 授業日
	12	木	防災訓練
	14	土	超領域入試
	27	金	芸大祭(10/27~10/29) 休講
		↘	
10月	29	日	↓ ミニオープンキャンパス
	30	月	芸大祭後片付け 休講
	3	金	文化の日 授業日
11月	11	土	推薦入試
	22	水	休校 学院創立記念日
	23	木	勤労感謝の日 授業日
12月	16	土	自己推薦入試
	23	土	天皇誕生日 授業日
	29	水	冬期一斉休業期間(休校)(12/29~1/3)
		↘	
1月	3	火	↓
	8	月	休校 成人の日
	16	火	後期補講・集中期間(1/16~1/20)
		↘	
	20	土	↓
	22	月	後期試験期間(1/22~1/24)
		↘	
1月	24	水	↓
	25	木	後期補講・集中期間(1/25~2/2)
		↘	
2月	2	金	↓
	4	日	大学院入試・研修生入試
	5	月	一般A日程入試
	6	火	一般A日程入試・社会人入試
	7	水	後期試験合否発表(13:00)
	10	土	追再試験
	11	日	休校 建国記念の日
	12	月	振替休日
	13	火	追再試験
	14	水	追再試験
	20	火	追再試験合否発表(13:00)
2月	25	日	ミニオープンキャンパス
	28	水	卒業判定会議
	7	水	進級判定会議
	12	月	研究生考査
	20	火	卒業式
	21	水	春分の日
3月	25	日	一般B入試
	29	木	新年度オリエンテーション予定(3/29~3/30)
	30	金	↓

2017年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	土	入学式
	3	月	オリエンテーション(4/3~4/8)
			↓
	4	火	新入生宿泊オリエンテーション(4/4~4/5)
	5	水	↓
	6	木	健康診断
	8	土	↓
	10	月	前期授業開始
5月	29	土	休校 臨時休校日
	1	月	休校 開学記念日
	2	火	休校 臨時休校日
	3	水	休校 憲法記念日
	4	木	休校 みどりの日
	5	金	休校 こどもの日
	6	土	休校 臨時休校日
6月	21	日	後援会総会・教育懇談会
	10	土	オープンキャンパス(全学部)
7月	15	木	文化創造セミナー
	16	日	オープンキャンパス(芸術教養・人間発達)
	17	月	海の日 授業日
8月	31	月	試験期間(7/31~8/2)
			↓
	2	水	↓
	3	木	集中講義期間(8/3~8/10)
			↓
	10	木	↓
	11	金	休校 山の日
	18	金	前期試験合否発表(13:00)
	19	土	オープンキャンパス(芸術教養・人間発達)
	21	月	研究生考査
9月	23	水	追再試験(8/23~8/25)
			↓
	25	金	↓
	31	木	前期追再試験合否発表(13:00)
	3	日	AO入試(A日程)
	7	木	後期履修登録3・4年生
	8	金	後期履修登録1・2年生
9月	11	月	3年生補講(9/11~9/15)
			↓
	15	金	↓
	16	土	AO入試(B日程)
	18	月	後期授業開始(敬老の日)
	20	水	前期卒業判定会議
	23	土	特別公開講座・休校(秋分の日)
	27	水	前期卒業式
	30	土	オープンキャンパス(全学部)

月	日	曜日	後期行事予定
10月	2	月	教育実習(幼:10/2~10/23)(小:10/2~10/27)
	4	水	前期卒業式
	9	月	体育の日 授業日
	14	土	超領域入試
	19	木	防災訓練
	23	金	↓
	27	金	芸大祭(10/27~10/29) 休講
			↓
	29	日	↓ ミニオープンキャンパス
	30	月	芸大祭後片付け 休講
11月	3	金	文化の日 授業日
	11	土	指定校推薦入試
	22	水	休校 学院創立記念日
	23	木	勤労感謝の日 授業日
12月	16	土	AO入試(C日程)
	23	土	天皇誕生日
	26	火	3年生補講(12/26~12/28)
			↓
	28	木	↓
1月	29	金	冬期一斉休業期間(休校)(12/29~1/3)
			↓
	3	水	↓
	8	月	休校 成人の日
	16	火	補講 3年生補講
	18	木	補講
	19	金	補講
	22	月	後期試験期間(1/22~1/24)
			↓
	24	水	↓
2月	25	木	補講集中講義期間(1/25~2/2)
			↓
	2	金	↓
	4	日	大学院入試
	5	月	一般入試A日程・社会人・留学生・センター試験前期入試
	6	火	一般入試A日程・社会人・留学生・センター試験前期入試
	7	水	後期試験合否発表(13:00)
	10	土	追再試験
	11	日	休校 建国記念の日
	12	月	振替休日
3月	13	火	地域活動(小学校体験活動)(2/13~2/23) 保育所実習(2/13~2/24) 追再試験
	14	水	↓
	20	火	追再試験合否発表(13:00)
			↓
	23	金	↓
	24	土	↓
	28	水	卒業判定会議
	4	日	教育・保育プレゼンテーション入試
	7	水	進級判定会議
	12	月	研究生考査
20	火	卒業式	
21	水	春分の日	
25	日	一般B入試	
28	水	新年度オリエンテーション予定(3/28~3/29)	

就職セミナーの紹介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。

※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2018年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽学部》

月	学年	講座内容	対象
10月	3・4年生	進路選択前のキャリアマネープラン(就職するとは)リクナビ	
4	全学年	第1回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者
		作文添削	
	4年生	教員採用試験全体説明会 愛知県教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員 愛知県受験者
5	全学年	第2回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	スタートアップA(就職活動の基本事項の確認)	
		スタートアップB(就職活動の基本事項の確認)	
		自己分析とはA 自己分析とはB	
	4年生	名古屋市教員採用試験説明会	名古屋市受験者
		岐阜県教員採用試験説明会	岐阜県受験者
三重県教員採用試験説明会		三重県受験者	
6	全学年	第3回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	インターンシップとはA インターンシップとはB	
		自己分析・適性検査	
		企業研究(業界・業種研究)とはA-1	講座受講希望者
		教員採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座内)について	
		企業研究(業界・業種研究)とはB-1	
		企業研究(業界・業種研究)とはA-2	
		企業研究(業界・業種研究)とはB-2	
自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方			
7	3年生	夏期休業期間中の準備活動についてA	
		音楽業界就職セミナー(劇場・ホール等希望者向け)	
		スーツの着こなしガイダンス	
		メイクガイダンス	
8・9	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
9	全学年	第4回就職支援・資格取得講座受付	講座受講者
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会【教員希望者対象】	教員希望者
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)A	
11	3年生	第5回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
		就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)B	
		履歴書・エントリーシートとはA-1	
		履歴書・エントリーシートとはB-1	
		履歴書・エントリーシートとはA-2 履歴書・エントリーシートとはB-1	
ワークルール 働く上での基礎知識 就職採用試験【筆記試験】とはB			
12	3年生	作文添削	
		就職採用試験【筆記試験】とはA	
		面接対策ガイダンスA	
		教員採用試験 今からやっておくことガイダンス	教員希望者
		面接対策ガイダンスB ビジネスマナーガイダンス	
1	全学年	第6回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者)	
春季休暇	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講者
通年	4年生	ハローワーク訪問	企業希望者

《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講座内容
4	全学年	就職活動オリエンテーション
	3年生	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)
		就職ガイダンス(インターンシップについて大学ⅠSと一般公募ⅠSの違い等)
		就職ガイダンス(自己分析・自己発見のための職務適性テスト実施)
4年生	教員採用試験学内説明会 就職ガイダンス(アーティストとして独立するために 梅津 諭氏)	
5	1・2年生	キャリアガイダンス(卒業後の進路を考える)
		キャリアガイダンス(業界セミナー①)
		キャリアガイダンス(意匠制度と意匠審査官について 特許庁)
	3年生	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策①)
		就職ガイダンス(アーティストとして独立するために 梅津 諭氏)
	4年生	就職ガイダンス(意匠制度と意匠審査官について 特許庁)
		教員採用試験学内説明会 就職ガイダンス(アーティストとして独立するために 梅津 諭氏)
留学生	就職ガイダンス(日本で就職するためには)	
インターンシップ 2・3・4年希望者	夏季インターンシップ(ガイダンス授業) 夏季インターンシップ(業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成) 夏季インターンシップ参加申込受付	
6	1・2年生	キャリアガイダンス(適性診断 マイ・コンパス)
		就職ガイダンス(職務適性テスト解説・自己分析ガイダンス)
	3年生	就職ガイダンス(ムビケーション講座)
		就職ガイダンス(公務員教員になるためには)
		就職ガイダンス(インターンシップ応用) WEB模擬テスト ※事前申込必要
7	3年生	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策②)
		就職ガイダンス(4年生による就職活動体験/パネルディスカッション)
	4年生	就職ガイダンス(ビジネスマナー)
		就職ガイダンス(ワークルールの基礎知識)
インターンシップ2・3・4年希望者	就職ガイダンス(ハローワーク説明会/就職活動リスタート講座) 就職ガイダンス(ワークルールの基礎知識)	
8・9	インターンシップ2・3・4年希望者	夏季インターンシップ(ビジネスマナー講習[事前研修]) 夏季インターンシップ研修実施
9	1・2年生	キャリアガイダンス(業界セミナー②)
	3年生	就職ガイダンス(後期スタートアップ後期ガイダンス説明)
	4年生	就職ガイダンス(適性試験対策 MATCH)
10	3年生	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
	4年生	就職ガイダンス(業界研究) 求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
11	3年生	就職ガイダンス(デザイン業界研究)
		就職ガイダンス(広告・WEB・マスコミ業界研究) WEB模擬テスト ※事前申込必要
	4年生	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
		春季インターンシップ(ガイダンス授業) 春季インターンシップ(業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成) 春季インターンシップ参加申込受付
12	3年生	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策③)
		就職ガイダンス(履歴書・エントリーシートの作成)
	4年生	就職ガイダンス(スーツの着こなし) 求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
1	3年生	就職ガイダンス(進学(大学院・研究生)について)
		就職ガイダンス(4年生内定者との業界別座談会)
		就職ガイダンス(面接対策)
	4年生	就職ガイダンス(ビジネスマナー 講座)
		就職ガイダンス(ポートフォリオ個別アドバイス会)
		就職ガイダンス(グループディスカッション対策) 就職ガイダンス(キャリア&マネープラン卒業後の仕事とお金に関する知識) WEB 模擬テスト ※事前申込必要
インターンシップ2・3・4年希望者	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等) 就職ガイダンス(キャリア&マネープラン 卒業後の仕事とお金に関する知識) 春季インターンシップ(ビジネスマナー講習[事前研修])	
2	3年生	就職ガイダンス(直前対策① サイト確認 求人NAV Iの使い方)
		就職ガイダンス(直前対策② 合説のまわりかた エントリー企業リスト作成) WEB模擬テスト ※事前申込必要
	4年生	就職ガイダンス(ハローワーク登録) 求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
2・3	インターンシップ2・3・4年希望者	春季インターンシップ研修実施
3	3年生	WEB模擬テスト ※事前申込必要
	4年生	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)

※4・5・7・8・9・10・11・1・2・3月 各種就職支援・資格取得講座の実施

《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
アイシメン	3・4年生	進路選択前のキャリアマネープラン(就職するとは)	
	4	全学年	第1回就職支援・資格取得講座受付 作文添削
4	4年生	公務員試験説明会(保育職)	公務員希望者
		教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
		愛知県教員採用試験説明会	愛知県受験者
5	全学年	第2回就職支援・資格取得講座受付 作文添削	講座受講希望者
	3年生	スタートアップA(就職活動の基本事項の確認)	
		スタートアップB(就職活動の基本事項の確認)	
		自己分析とはA 自己分析とはB	
	4年生	名古屋市教員採用試験説明会	名古屋市受験者
		岐阜県教員採用試験説明会	岐阜県受験者
三重県教員採用試験説明会		三重県受験者	
6	全学年	第3回就職支援・資格取得講座受付 作文添削	講座受講希望者
	3年生	インターンシップとはA インターンシップとはB 自己分析・適性検査	
		企業研究(業界・業種研究)とはA-1	講座受講希望者
		教員採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座内)について	
		公務員(保育職)採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座内)について	
		企業研究(業界・業種研究)とはB-1	
		企業研究(業界・業種研究)とはA-2	
		企業研究(業界・業種研究)とはB-2	
	自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方		
	4年生	幼稚園・保育所・施設への就職活動について	幼・保(施設)希望者
愛知県私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)		幼・保希望者	
7	3年生	夏期休業期間中の準備活動についてA	
		スーツの着こなしガイダンス	
		メイクガイダンス	
8・9	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
9	全学年	第4回就職支援・資格取得講座受付	講座受講者
	3年生	(公立・私立)幼稚園・保育園への就職活動について	幼・保希望者
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会【教員希望者対象】	小学校希望者
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)A	
11	全学年	第5回就職支援・資格取得講座受付 作文添削	講座受講希望者
	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)B	
		履歴書・エントリーシートとはA-1	
		履歴書・エントリーシートとはB-1	
		履歴書・エントリーシートとはA-2	
		履歴書・エントリーシートとはB-2	
ワークルール 働く上での基礎知識 就職採用試験【筆記試験】とはB			
12	全学年	作文添削	
	3年生	就職採用試験【筆記試験】とはA	
		面接対策ガイダンスA	
		教員採用試験 今からやっておくことガイダンス	教員希望者
		面接対策ガイダンスB	
ビジネスマナーガイダンス			
1	全学年	第6回 就職支援・資格取得講座受付 作文添削	講座受講希望者
	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者)	
		希望別就職活動ガイダンス(人間発達学部の幼・保・施設・教員希望者)	
春季 休暇	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講者
通年	4年生	ハローワーク訪問	企業希望者

■2016年度 音楽学部進路状況

2017年5月1日現在

		演奏		音楽創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就	教職関係	公立学校教員	2	17	1	3	3	20	23
		私立学校教員	0	0	0	0	0	0	0
		その他教育機関(海外等)	0	0	0	0	0	0	0
	小計		2	17	1	3	3	20	23
	福祉関係	福祉施設等(音楽療法士含む)	0	0	0	2	0	2	2
		小計	0	0	0	2	0	2	2
	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	5	0	0	0	5	5
		楽器店講師	0	2	0	0	0	2	2
		自宅教室(ピアノ)	0	0	0	0	0	0	0
		自宅教室(他)	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園・保育所		0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	7	0	0	0	7	7	
音楽家	奏者(フリー)	1	1	0	4	1	5	6	
	ミュージカル・アーティスト	0	0	0	0	0	0	0	
小計		1	1	0	4	1	5	6	
職	一般企業	2	5	1	11	3	16	19	
	各種団体等	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	2	5	1	11	3	16	19	
	公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	
合計		5	30	2	20	7	50	57	
進学	大学院	1	4	0	0	1	4	5	
	研究生	3	5	1	0	4	5	9	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	0	1	1	1	1	2	3	
合計		4	10	2	1	6	11	17	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	2	0	4	0	6	6	
合計		0	2	0	4	0	6	6	
活動中(調査中)	講師登録・その他	1	1	0	3	1	4	5	
	合計	1	1	0	3	1	4	5	
総合計		10	43	4	28	14	71	85	

卒業生数(9月卒業なし)	10	43	4	28	14	71	85
就職・進学希望者数	10	41	4	24	14	65	79
就職・進学者数	9	40	4	21	13	61	74
就職・進学率	90%	98%	100%	88%	93%	94%	94%
		96%	89%	94%			

■2016年度 美術学部進路状況

2017年5月1日現在

		日本画コース		洋画1・2コース		彫塑・陶芸・ガラス		アートワークスコース		美術文化コース		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
就	教育関係	公立学校教員(常勤・非常勤講師含)	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	5	6
		私立学校教員(常勤・非常勤講師含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	5	6
	フリーランス・作家活動	小計	0	0	1	4	0	0	1	0	0	0	2	4	6
		クリエイティブ職(デザイナー職等)	0	1	0	6	0	0	0	1	0	0	0	8	8
	一般企業等(職種別)	専門技術職(機械設計職等)	2	0	1	0	1	3	0	0	0	0	4	3	7
		総合職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		販売職	0	3	0	1	1	0	0	4	0	0	1	8	9
		営業職	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	5	5
		事務職	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
上記以外のその他(法人等)	0	1	0	5	1	1	0	1	0	0	1	8	9		
小計		2	6	1	18	3	4	0	6	0	1	6	35	41	
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		3	7	2	26	3	4	1	6	0	1	9	44	53	
進学	大学院	1	1	1	3	1	1	0	1	0	0	3	6	9	
	研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(大学・専門)	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	2	2	4	
合計		1	1	1	4	3	2	0	1	0	0	5	8	13	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	2	4	
合計		0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	2	4	
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	1	0	4	0	0	1	1	0	0	1	6	7	
	合計	0	1	0	4	0	0	1	1	0	0	1	6	7	
総合計		4	9	3	36	7	6	3	8	0	1	17	60	77	

卒業生数(9月卒業含む)	4	9	3	36	7	6	3	8	0	1	17	60	77
就職・進学希望者数	4	9	3	34	6	6	2	8	0	1	15	58	73
就職・進学者数	4	8	3	30	6	6	1	7	0	1	14	52	66
就職・進学率	100%	89%	100%	88%	100%	100%	50%	88%	-	100%	93%	90%	90.4%
		92.3%	89.2%	100.0%	80.0%	100.0%	90.4%						

■2016年度 デザイン学部進路状況

2017年5月1日現在

		デザイン科								合計		総計			
		MCブロック		PSブロック		Cpブロック		LSブロック		男	女				
		男	女	男	女	男	女	男	女						
就職	教育関係	公立学校教員(常勤・非常勤講師含)	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2		
	私立学校教員(常勤・非常勤講師含)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1		
	小計	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2	3	3		
	フリーランスデザイナー	2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	3		
	小計	2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	3		
	一般企業等(職種別)	クリエイティブ職(デザイナー職等)	11	34	4	13	2	4	0	4	17	55	72	72	
		専門技術職(機械設計職等)	1	2	3	2	1	2	0	0	5	6	11	11	
		総合職	0	0	1	1	0	3	0	0	1	4	5	5	
		販売職	0	6	0	2	1	4	1	4	2	16	18	18	
		営業職	0	3	0	2	0	2	0	0	0	7	7	7	
		事務職	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	3	3	
		上記以外のその他(法人等)	1	4	0	1	2	2	0	1	3	8	11	11	
		小計	13	49	8	22	6	18	1	10	28	99	127	127	
		公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	16	49	8	23	6	19	1	11	31	102	133	133			
進学	大学院	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	3	3		
	研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他(大学・専門)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	3	3		
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	2	0	0	3	1	0	0	0	3	3	6	6		
合計	2	0	0	3	1	0	0	0	3	3	6	6			
活動中(調査中)	講師登録・その他	2	8	0	2	0	3	1	1	3	14	17	17		
	合計	2	8	0	2	0	3	1	1	3	14	17	17		
総合計	21	58	8	29	7	22	2	12	38	121	159	159			

卒業生数(9月卒業含む)	21	58	8	29	7	22	2	12	38	121	159
就職・進学希望者数	19	58	8	26	6	22	2	12	35	118	153
就職・進学者数	17	50	8	24	6	19	1	11	32	104	136
就職・進学率	89%	86%	100%	92%	100%	86%	50%	92%	91%	88%	88.9%
	87.0%	94.1%	89.3%	85.7%	88.9%						

■2016年度 人間発達学部進路状況

2017年5月1日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
		就職	教職		公立学校教員
公立幼稚園教員	0			0	0
私立幼稚園教員	1			18	19
その他の教育機関	0			0	0
小計	9		28	37	
認定こども園	1		3	4	
小計	1		3	4	
福祉	公立保育所(正職)		2	19	21
	私立保育所		1	19	20
	福祉施設(保育士等)		5	6	11
	学童保育所(クラブ)		0	3	3
	小計		8	47	55
一般企業	17		11	28	
各種団体等・その他	0		1	1	
小計	17		12	29	
公務員	その他	0	0	0	
小計	0	0	0		
合計	35	90	125		
進学	大学院	1	2	3	
	研究生	0	0	0	
	海外(留学)	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	2	0	2	
	合計	3	2	5	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	1	1	
	その他	0	2	2	
合計	0	3	3		
活動中(調査中)	講師登録・その他	2	0	2	
合計	2	0	2		
総合計	40	95	135		

卒業生数(9月卒業なし)	40	95	135
就職・進学希望者数	40	92	132
就職・進学者数	38	92	130
就職・進学率	95%	100%	98%

先輩の活躍



生徒の成長がやりがいとなる

2016年度 音楽学部 演奏学科
ピアノ選択コース卒業

辻 春名

私が高校の教員になって半年が経とうとしています。全てのことが初めてで分からないことばかりですが、周囲の先生方に支えて頂き、1学期を終えることが出来ました。

教育実習で経験させて頂いた仕事はほんの一部に過ぎず、授業と部活動以外にもやるべき仕事は本当にたくさんあります。また、教材研究や授業準備は個人の裁量に任されているため、丁寧に行えば終わりはありません。それでも、生徒が授業に主体的に取り組もうとする姿や、出来なかったことが出来るようになった時の達成感溢れる笑顔を見ると、私も、とても嬉しい気持ちになり、もっと授業を工夫しようという意欲が湧いてきます。

また、現在、吹奏楽部の主顧問をやらせて頂いていますが、4月当初は部員全員が違う方向を向いており、とても合奏が出来るような状況ではありませんでした。

それでも、生徒一人ひとりとしっかり向き合い続けることで少しずつではありますが、生徒たちにまとまりや意欲がみられるようになりました。このように生徒が成長していく姿を見ると、日ごろの大変さ以上にやりがいを感じます。

私は、中学生の時から講習会等でお世話になっていた先生の方で勉強したい一心で、名芸大への進学を決めました。1・2年生の頃は、レッスンで注意して頂いた事を翌週までに改善できないことも多々ありましたが、先生は、根気よく何度も教えて下さいました。

この4年間の厳しくも愛情溢れるレッスンを通して、ピアノの技術や音楽的な面だけでなく、人として大切なことを沢山教えて頂きました。私自身、教える側の立場になり、常に生徒のことを考え、愛情をもって接することの大切さ・難しさを痛感しています。先生をはじめ、友人や先輩方など、この4年間で築いてきた人とのつながりを大切に、これからも学び続ける姿勢を崩さず、日々、生徒と共に成長していきたいと思えます。

(愛知県立高等学校 勤務)

子どもたちを知る

2016年度 人間発達学部
子ども発達学科卒業

黒田真由

私は幼い頃から弟妹の面倒を見ることが多く、いつしか子どもと関わる仕事に就きたいと思うようになりました。大学で保育実習をさせていただき、保育士になりたいという想いが強くなり、勉強はもちろんボランティアなど様々な経験をさせていただいたことで無事夢を叶えることができました。

私は今年の4月から名古屋市の公立保育園の保育士として、二歳児クラスの担任をしています。地域子育て支援センターと併設しており、地域の親子との交流など子育て支援にも力を入れています。子どもとの関わり、保護者とのコミュニケーション等悩むことも迷うことも多い中、先輩方から学び、連携をとりながら1日1日を楽しんとか乗り越えています。

新規として入り、わからないことばかりですが、私は『子どもたちを知ること』を何よりも大切にしていま

す。保育をしていく中で「スキンシップを大切に、何かあったら素早く子どもの元へ駆け寄り寄ること」は当たり前でとても難しいことだと知りました。私の保育園では外国籍の家族が多い為、子どもや保護者とのコミュニケーションの難しさを感じると共に、母子父子家庭や多子家庭も多く、十分に子ども達に目が行き届いていない等家庭との連携の難しさも感じます。そうした家庭環境も踏まえ、子どもたちを知ることが一人一人に合った配慮・援助へと繋がると日々実感します。

忙しくても、辛くても、子どもたちの可愛さにいつも癒され、やりがいを感じ、名古屋市で保育士として働くことを本当にうれしく思います。大学の先生方をはじめ、多くの支援があったからこそ今こうして働けているのだと感謝すると共に、大学での講義や実習の大切さを改めて実感します。子どもたちにとって安心して過ごすことができ、保育園に通うことが楽しいと思ってもらえる様に、今後ももっと子どもたちを知り、学び続けていきたいと思えます。

(名古屋市立保育園 勤務)



美術は強みになる

2016年度 美術学部 美術学科
洋画コース卒業

若杉早織

美大という特殊な環境の中で、就職先に迷っている方はたくさんいると思います。多くの学生は、学んだことを活かしデザインや教職、作家の道に進みます。しかし、ものづくりや表現はしたいけど仕事にするのはなあ。という方もいると思います。私は後者でした。

しかし、美術からかけ離れたことには興味がなかったので、小売業やサービス業を中心に就職活動を行い、現在はフォトスタジオで撮影、美容スタッフとして働いています。支度から撮影、写真選びまで全て行うため覚えることが多くお稽古の毎日ですが、お客様の大切な記念日に関わることのできる、とてもやりがいのある仕事です。

油絵とは直接関係のない仕事ですが、色の知識や構図のとり方など、今まで学んできたことが着物のコーディネートや撮影で役に立っています。また、お店の看板を描いたり、セットの修復をしたりと、絵筆をとれるこ

ともあります。美術関係の就職でなくても、力を発揮できる場面はちゃんとあるのです。

もし、一般職希望の方がいたら、ポートフォリオの要らない面接だったとして

も、2、3枚でいいので作品を持っていき、面接官に見せてほしいと思います。私はこんな素敵なものが作れますよ！と、是非アピールしてください。どんな作品を作っているの？は、どこの企業でも必ず聞かれました。普段美術をやらない人に作品を口頭で説明することはとても難しいです。作る時間がなかったら、クロッキー帖を見せるのもいいと思います。芸大にいる今、みんなできて当たり前なことでも、社会に出ると、それは私にしかできない特別なことになり得ます。美術ができることは大きな武器です。そこに自信をもって、就職活動をしてください。応援しています！



(フォトスタジオ 勤務)

夢に向かって

2016年度 デザイン学部
デザイン学科卒業

堀 潤亮

私は現在、スマートフォン向けゲームアプリのデザイナーとして働いています。普段はキャラクター、装備デザインから、UI、バナー制作など幅広い業務を行っています。

大学入学当初から将来はゲームの絵を描きたいという夢を持っていました。そのため、大学では主にイラストレーションと、PCでの制作を集中して学んでいました。自分ではそのような事前準備をしっかりと行ってきつたりだったので、ポートフォリオもスムーズに作成できたように感じておりました。

しかし、いざ会社の方にポートフォリオを見ていただくと、「ゲームが作りたいのか、絵が描きたいかが分からない」と指摘をもらいました。これは自分の中でゲームを作ることを理解できていないことに気付かせてもらえる言葉でした。私はゲームのグラフィックデザイ

ンと、ただデジタルで絵を描くことができることを混同していたのです。そこからはゲーム作りにはどんな素材が必要なのか、またゲームを作るにはどんな知識を持っているべきなのかを意識して、一から自分を見つめ直しました。そのおかげで「ただ絵を描きたい」という意識から、「ゲームのグラフィックデザインを行いたい」という具体的な意識を持ち、ポートフォリオで伝えることができるようになりました。

そして私は今、実際にゲーム開発の現場に立っています。夢を叶えたという気持ちも少しありますが、やっとスタートラインにつくことができたという気持ちが大きいです。内定をいただき入社できたとはいえ、自分はまだ未熟です。それは入社後に様々な業務を行うことで強く感じました。はじめはこのままで大丈夫かと不安になりましたが、周りの先輩方が親切に指導して下さったことや初心に戻ることで、改めてここからまた多くのことを学び成長していこうと思うことができました。これからも一人前のデザイナーとなりユーザーを楽しませることができるように日々努めていきたいです。

(株式会社エイチーム 勤務)

親の想い

もし行き詰ったら

デザイン学部 デザイン学科
2年 母 池野美鈴

ご入学、ご進級されて学生生活も落ち着いて来た頃でしょうか。

我が家からは初の芸術系大学進学であったこともあり、大学でのカリキュラム、部活、友人関係など、わからずに大学生活を進めておりました。当然楽しく大学に行っているものと思っておりましたが、実のところは行くのが怖いと、なかなか踏み出せないようでした。原因はデッサンが苦手であったこと、しかしながら親の目から見ると、こんなに上手く描けているのにどうして落ち込むのか、わかりませんでした。

それだけ名芸には素晴らしい逸材が揃っているということにもなるわけです。一般的にはできないよりできた方がいいに決まっていますが、芸術の世界はナンバーワンではなく、オンリーワンであることが大事であると思います。

子どもがこれから、描けない、創れないと落ち込むことがあると思いますが、その時はオンリーワンを育てる過程と思って見守ることも必要です。留年するかもしれませんが、それはそれで人生の一つの学びでもあるのですから、親としてはお金がかかり懐は痛みますが、貴重な経験として見守りましょう。

2年になり1年生の時の怖さを引きづっておりまして。物作りが好きな本人には辛かったと思います。

そうしたところ、学生支援課の先生から、困っているのではと、総会の日にお声がけ頂きました。その後は2者面談、3者面談と行って頂き、子どもの不安、親の不安を大学側にご理解いただきました。1人の学生の為に、そのようなご尽力下さって本当に感謝しています。

もし何かしら不安がある方がおられたら一度相談してみる事をお勧め致します。また親も名芸を少しでも知る事が、子どもの気持ちにも近づく良い方法ではないでしょうか。

学祭や作品展に出向くとか、先輩のお父様お母様方と、後援会でお話するのも良い方法だと思います。

今後の大学の発展と学生達の未来を楽しみにしています。

まだ内海だけど、 外海に向かって出港準備

芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース
1年 父 柏木 司

はじめに、今年、縁あって名芸大に次女が入学しました。私はある程度は想定していました。

さて、では何故次女は名芸大に入学することになったのか自問自答してみます。入学した原因には、近因と遠因の2つがあると思われるます。

第1に近因ですが、次女が高1～高3までオープンキャンパスに参加したことが大きく影響しています。高1の時、次女と妻が参加し「最高級に素晴らしい大学だ」と大いに感動を語ってくれました。次女は名芸大に300%もの高評価をつけ「私の感性にピッタリだ、是非入学したい」と、熱い想いを私に語ってくれました。私は正直なところ「そんなに素晴らしい大学があるのだろうか」と半信半疑で冷静でした。そして確かめるべく高2の時、次女と私で参加しました。名芸大は悪くない印象でした。さらに高3の時、再び次女と私で参加しました。特に日本画と木工房での心温まる説明が好印象でした。これで私の心もほほ決まりました。

第2に遠因ですが、次女が幼稚園の入園に際してT市内のA園に3歳で入ったことです。A園の特徴は、圧倒

的に美術最重視で、次いで音楽重視の教育内容でした。体育は皆無に近い状況でした。私は圧倒的に体育最重視のM園にできれば入園させたかったのですが、不思議なことに妻に強く反対しませんでした。A園に入園してみると、園児達の運動能力は同年齢の幼児達に比べ、あまりにも低く、目を覆いたくなるひどい有様でした。次女は今も体育は苦手ようです。

しかしA園は美術最重視の教育で、次女は帰宅すると楽しみながらとにかく毎日のように絵を描くようになったのです。次女は3歳～19歳までほとんど毎日、飽きもせず絵を描き続けています。『三つ子の魂、百までも』と言われていますが、人間の基本パターンは幼児期に形成されると思います。幼児教育の大切さを痛感している昨今です。この幼稚園を選択したことが名芸大入学に大きく影響していると思われるます。

おわりに、私は次のように希望します。

①人生、順風満帆ということは稀有であり、必ずや嵐や逆境の時はやってきます。最後にも言うのは、精神力です。今まで温室育ちなので時間をかけて強い精神力を養って欲しいと希望します。必ず解決策はあり、道は開けます。

②将来は全くの未知数ですが、付け焼き刃ではなく、筋金入りの本物の実力を養って欲しいと希望します。美術だけでなく、人としてもです。古人は『苦節10年』『石の上にも3年』『ローマは1日にして成らず』と言ったりもしています。

子の想い

ずっと音楽とともに

音楽学部 演奏学科 ピアノコース
2年 川野姫佳

小さな頃から、母がマリンバ・ピアノ教室をしている事もあり、自然に音楽に触れあうようになりました。

幼児科からヤマハに通うようになり、テキストの曲だけでなく伴奏づけや作曲も練習し、演奏グレード取得に向けて頑張ってきました。

中学時代は、吹奏楽部でパーカッションパートになり、アンサンブル・ソロコンテストでは金賞を目標に頑張りました。ピアノもPer.も、いつも一緒に頑張ってくれる仲間がいたのもずっと続けてこられた秘訣だと思います！

高校生になった時、ピアノコースで大学に行きたいと進路を決め、迷わず名芸を受験しました。名芸では個人レッスンだけでなく、室内楽や伴奏法、初見奏法など、今目標にしている指導グレード受験のための授業もあり、とても勉強になります。高校のころから、地域の子供たちの奉納神楽・巫女舞の指導をお手伝いさせて貰

ています。私は、卒業したらピアノの先生になりたいので、綺麗に扇子をまわせる子、なかなか上手に踊れない子、元気な子、内気な子、みんなそれぞれカラーがあり、1人1人どのように教えてあげたらいいかと考えるのも、すごく難しいけど勉強になります。

亡き祖母が生前、「姫ちゃん、資格と芸は身を助けるよ」と、教えてくれました。なるべく色々な資格をとりたいと思うので、教職免許もぜひ取得したいと思いますが、学科試験がとても苦手なので単位がとれるか心配です…。友達にも教えてもらいながら頑張りたいです。

個人レッスンで、できない時はやれるまで丁寧に教えてくださり、できた時にはしっかり褒めてくださるいつも元気な先生が大好きです！私も全く足元にも及びませんが、1人1人大切に教えてくださる先生の様なピアノの先生になる事を目標に、もうすぐ二十歳！もっと周りに気配りのできる人になりたいです。



BORDERLESS 1 期生、始動！

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
1年 菊井紫乃

名古屋芸術大学に入学して早くも半年。私と名古屋芸大の運命的な出会いは、高校3年生で初めて参加したオープンキャンパス。受付で渡された大学案内資料が詰まった封筒の中に見つけた、「BORDERLESS」(ボーダレス)のロゴがひときわ目立つ赤い腰巻きがついた新聞「NUA GUIDE 2017」と、「名古屋芸大グループ通信」Vol.35。

BORDERLESSを旗印に掲げ、大胆な大学改革を提唱する竹本学長の巻頭メッセージと、推進役の津田副学長・萩原学長補佐(当時)現芸術学部長のインタビュー記事は、従来の大学教育の常識を覆す衝撃的な内容でした。高校生の私には難解な部分もありましたが、理解できるまで何度も一生懸命読み返しました。

BORDERLESSとは、境界がないということ。私が受験する2017年度から名古屋芸大では、既存の美術・デザイン・音楽の芸術系3学部4学科を、芸術学部芸術学科の1学部1学科に統合し、さらに4領域24コースに再編する(芸術教養領域リベラルアーツ・コースの新設を含む)。これにより学生は、昨年度までのタテ割り組

織だった旧学部の枠組みを越えて、横断的・学際的に芸術のあらゆる領域を自由に学ぶことが可能となる。これまでまだ誰も経験したことのない壮大なスケールの大学改革の実験が、まさに始まろうとしていたのです。

私は確信し、決断しました。私の行き先は、五芸でもムサタマでも女子美・日芸でもない。名芸こそが私の進むべき真理探求の唯一の道である！

かくして新しく生まれ変わった名古屋芸大に入学を許可された私は、栄えあるBORDERLESS 1 期生となりました。前人未踏の行く手には、芸術のあらゆる可能性を秘めた未来が広がっています。毎日が新しい出会いと発見の連続です。ワクワクドキドキしながら、キャンパスライフをエンジョイしています。



ブライトン大学訪問記

後援会長平井友明

University of Brighton
Graduate Show

名古屋芸術大学の姉妹校のイギリスにあるブライトン大学を訪問しました。ブライトンは、イギリス南東部の海辺にある観光都市で、古い建物や公園が多い印象を持ちました。訪問中は好天に恵まれ名古屋より暑かったですが、とてもいい環境にある大学だと思います。

交流の一環として、6月3日から行われるブライトン大学のgraduate showで名古屋芸術大学後援会より優秀作品に賞を贈呈するために訪れました。



審査風景

大学からは、美術領域の須田教授、デザイン領域の扇千花教授、国際交流センターの大西理志さん、内平早紀さんが同行されました。

6月1日に大学に到着すると1日かけて、事前にブライトン大学の先生により13コースの中から選ばれた46作品の審査を行いました。

様々な作品やパフォーマンスを目にすることができ、学生の研究の成果を実感しました。

翌日には内覧会が夕方から行われ、3時間と限られた時間でしたが家族や同窓生、招待客で会場は大変な賑わいでした。

そして3日には授賞式が開催されました。大学のホールで行われましたが、ブライトン大学からの多数の賞の後、私たちの順番となりました。私と須田教授がスピーチを行った後、受賞した学生に賞状と1位1名賞金300ポンド、2位2名200ポンド、3位3名100ポンドを授与しました。

1位はリサイクルした材料を利用して、カヌーとユニフォームを製作したもので、他の賞も受賞していました。

昨年名古屋芸術大学に留学した学生も3名がノミネートされており、留学中に関心を持った日本文化を研究した素晴らしい作品で、すべてが選ばれ受賞しました。

ブライトン大学とはこれまで長く交流を続けており、今回が20回目となりました。今後も両校による交流の発展を期待しています。



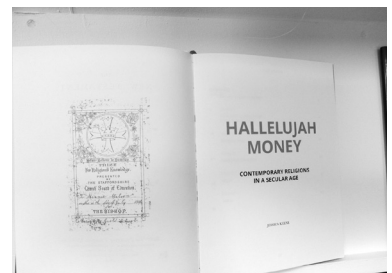
第1位 Zoe-Jo-Rae hpより



第3位 グオダ



第2位 ジョシュアとその作品集



第3位 ジェシカ

CONCERT GUIDE

2017年度 名古屋芸術大学 演奏会案内

9 September

ウィンドオーケストラ第36回定期演奏会

指揮／ヤン・ヴァン デル ロースト
竹内 雅一
日時／2017年9月16日(土) 15:30開演
会場／刈谷市総合文化センター
アイリスホール
入場料／一般500円・大学生以下無料

10 October

研究生特別演奏会

日時／2017年10月21日(土) 14:00開演
会場／名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール
入場料／無料 (全自由席)

11 November

オーケストラ第35回定期演奏会

指揮／高谷 光信
日時／2017年11月5日(日) 15:00開演
会場／豊田市コンサートホール
入場料／一般500円・大学生以下無料

第40回定期演奏会

日時／2017年11月16日(木) 18:00開演
会場／三井住友海上 しらかわホール
入場料／無料 (全自由席)

室内楽の夕べ 2017

日時／2017年11月28日(火) 17:30開演
会場／電気文化会館
ザ・コンサートホール
入場料／無料 (全自由席)

12 December

室内楽の夕べ 2017 (大編成の部)

日時／2017年12月5日(火) 18:00開演
会場／名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール
入場料／無料 (全自由席)

Earth Echo 電子オルガン第20回定期演奏会

日時／2017年12月7日(木) 18:30開演
会場／熱田文化小劇場
入場料／無料 (全自由席)

2 February

第16回 歌曲の夕べ

日時／2018年2月1日(木) 18:30開演
会場／熱田文化小劇場
入場料／無料 (全自由席)

研究生修了演奏会

日時／2018年2月8日(木) 17:30開演
会場／熱田文化小劇場
入場料／無料 (全自由席)

大学院音楽研究科特別演奏会

日時／2018年2月10日(土) 14:00開演
会場／名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール
入場料／無料 (全自由席)

Kaleidoscope2018

日時／2018年2月17日(土) 16:00開演
会場／名古屋芸術大学東キャンパス2号館 3F
入場料／無料 (全自由席)

ピアノのしらべ 第22回 春のコンサート

日時／2018年2月22日(木) 17:30開演
会場／熱田文化小劇場
入場料／無料 (全自由席)

オペラ公演

喜歌劇「こうもり」
日時／2018年2月24日(土) 15:00開演
会場／西文化小劇場
入場料／未定

日時／2018年2月25日(日) 15:00開演
会場／西文化小劇場
入場料／未定

3 March

第20回大学院音楽研究科修了演奏会

日時／2018年3月2日(金) 17:00開演
会場／三井住友海上 しらかわホール
入場料／無料 (全自由席)

第45回卒業演奏会

日時／2018年3月8日(木) 17:00開演
会場／三井住友海上 しらかわホール
入場料／無料 (全自由席)

ジャズポップスコース卒業演奏会

日時／2018年3月10日(土) 15:00開演
会場／名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール
入場料／無料 (全自由席)

ミュージカル公演

日時／2018年3月15日(木) 18:00開演
会場／アートピアホール
(ナディアパーク11F)
入場料／未定

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学 演奏課

■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281

■Tel 0568-24-5141

クラブ・同好会紹介 (東キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	ジャズ研究会	セッションを通じ、自分たちで思考し音楽を創り研究をすることで音楽への理解を深める。また、音楽だけではなく、曲を創り上げていくうえで、メンバーとコミュニケーションを深める。
2	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
3	フットサル部	週1回身体を動かすことで著しい体力の低下を防ぐとともに、フットサルの楽しさを皆で共有する。先輩後輩が交流を持つことで学生生活がさらに楽しくなるようにする。言葉遣いなど、社会にでてからも役立つことを学んでいく。
4	フラワーショットテニスクラブ	週に1～2回ほど集まって運動不足を解消する。
5	ミュージックボランティア	私たちは、音楽療法を使って高齢者施設や子どもの施設などの人たちを楽しませたり、病気を改善させたりすることを目的としています。
6	自然と暮らしを楽しむ会	自然物を使った工作や遊びを子どもと触れ合いながら伝えていくために自分達でロールプレイングをしたり、イベントにあわせて企画を考えるために、月4～6階程度集まり活動します。また、昨年同様ボランティア活動も進めていきたいと思えます。
7	B・B・Z	経験の有無にかかわらず、男女混合でバスケットを通して身体を動かし、時にはルールの勉強をしたり、自分達で試合を運営できるように練習していく。サークルを通して上下関係を学び、仲間とよりいっそう仲を深める。
8	ルーディメンツクラブ	インターナショナルルーディメンツ、コンテンポラリー、ハイブリッドドラムルーディメンツ等のあくまでも基本形を習得し、個々に対してのより合理的な奏法を確立する事により、表現の幅を広げ音楽的自立を目指す。
9	和太鼓部	和太鼓という日本の伝統文化を伝えるとともに楽しさやすばらしさを観客と部員が味わう。子ども達など普段和太鼓にかかわらない人に和太鼓を教え楽しさを知ってもらう。
10	ダンスサークル	ダンス活動を通して適度な運動をし、健康的な身体を作り上げること、様々な学年と創ること考えることを共有し交流を深め大学祭などを名古屋芸術大学の一員として盛り上げることを目的とする。
11	リズム体操部	私達は創って、動いて、指導することを目的とし、体操教室などを開催し、地域との交流を誇っていきたくです。さらにナートの大会に出場し、他大学との交流を深めていきたくです。
12	中音部	教育や保育の現場でも扱われる音楽に触れ、部員が一丸となって楽しむことで人間関係の築き方や、他の人への感情共有について知る。他学部とのかかわりを深める。
13	冒険KID'S	岐阜県郡上市名宝の大自然の中で春夏秋冬を通し、小学生に自然と触れ合うことの楽しさを伝え、一緒に遊びながら楽しく安全にサポートスタッフとして務め、私たちが目指す将来に役立つ「何か」を学ぶ。
14	自由工房	壁面構成や工作、クラフトを通して子ども達とかかわりながら技術を高める。また、児童館や施設へボランティアへ行く。
15	EXIA'S	バレーボールを通して、スポーツのマナーや礼儀を学ぶとともに、運動習慣を付ける。バレーボールの技術を向上させ、学外の大会で活躍するため。
16	録音部	自主的に音楽・録音作品の制作。音響での経験を重ね業界で生きる力を蓄える。
17	tiny*palette	ハンドメイドを趣味にしている人や興味を持っている人を集めて一緒に作品を作り、完成品を展示・販売してたくさんの人にハンドメイドを知ってもらうことを目的としています。またハンドメイダー同士で交流を深め技術の共有や向上を目指します。
18	女子スポ同好会	私達は体を動かし先輩後輩関係なく、一緒になってスポーツを楽しめるようにすることを活動目標とする。
19	Bami☆toon	適度に体を動かし個々の生活と両立をしつつ、仲間とともに体を動かす。一緒に体を動かすことで、心を許し合える仲間・場所をつくる。

クラブ・同好会紹介 〈西キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	テ ニ ス 部	テニスを通じて体力の向上をはかるとともに、北名古屋市の主催する大会などに参加して地域との交流を深める。
2	G O N C E スキー部	スキーやその他のスポーツを通して、充実した学生生活を送ることにより心身ともに成長する。
3	着 付 け 部	着付けを通して日本の文化を学び、着物の作法等、日常生活や将来に役立つような活動を目的とする。また、着付けでコミュニケーションをはかり、親睦を深める。
4	バ ト ミ ン ト ン 部	学年を超えて活動を共にすることで、上下関係、交友関係を広げる。週1～2回の活動で健康的に体を鍛え、体力をつけることを目的とする。
5	サ ッ カ ー 部	サッカーを通じて他学年、他学部との交流を深める。大会で優勝するという目標をもって努力する。
6	動 画 漫 画 研 究 部	芸大祭の催し物で出店するアニメ・特撮の制作、またコミックマーケットに向けての漫画制作、その他ギャラリーのイラスト展示会など様々な制作活動における交流や創造力の向上を目的とする。
7	写 真 部	写真技術の向上と写真表現の研究、写真部員同士による写真と美術、デザインに対する関わりの研究を目的とする。
8	自 由 音 部	音楽を通じて仲間との交流を深める。また、クラブイベントという一つの目標に向かって日々努力し、成功させることにより、困難に立ち向かい壁を乗り越える力を養う。
9	軽 音 部	音楽を通じて違う学科の学生と交流を深め、大学生活を充実させることが目的。それぞれバンドを組み活動を行い、技術の上達、交流を深める。
10	陶 芸 部	自ら粘土を形成して陶磁器などを作ることにより、創作意欲を高め、それを自ら販売することで交流を深める。
11	サマータイムブルース(野球部)	社会人と野球をすることで社会との交流を深める。
12	版 画 部	版画コース以外の学生も工房を使い、展覧会の発表に向けて作品制作を行う。
13	バスケットボール部	週に2回バスケットを楽しむことで、主に試合形式でスポーツを楽しみます。
14	演 劇 部	芸大祭での演劇公演に向け柔軟体操、筋肉トレーニング、稽古に励む。
15	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	音楽活動を通じて、様々な人と交流を図る。ライブ活動を行い、音楽の技能の向上を楽しみながら目指す。
16	ストリートダンス部	ダンスという全身を動かすスポーツにより、心身のリフレッシュ、また体力の増進を主な目的とする。芸大祭においては、ステージでの演技発表を目的とする。
17	映 像 研 究 部	ここ数年、表現の幅が拡大している映像メディア。それを通じて個人にどのような影響があり、社会にはどんな変化があるのかを研究する。又、この研究において映像制作を行う。
18	チ ェ ア ー ズ	子どもと遊びについて考え、子供に物づくりの楽しさを知ってもらうことを目的とする。
19	SweetCandyBoys&Girls	アウトドアな活動に積極的に取り組み、自然のありがたみを体で感じる。
20	書 道 ア ー ト	書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探索し、書道の新たな可能性を提示していく。書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探索し、書道の新たな可能性を提示していく。
21	ワンダーフォーゲル部	自然とふれあいを通して仲間との絆を深め、また協力することによって達成感を味わう。行く先々で出会う自然の風景のスケッチや写真撮影を行い、非日常的な体験を通じて感性を磨く。積極的に清掃山行にも参加し自然への理解を深め、自然災害に対する知識を身につける。
22	サバイバルゲーム愛好会	サバイバルゲームというスポーツの認知度を高め、その楽しさを研究していき、多くの人と接し、人脈を広げる。
23	レ ゴ 部	レゴブロックを用いた製作やワークショップ等の活動を通して芸術的感性を磨くとともに、社会へ貢献していく。
24	天 文 部	天体観測を趣味としている人達が集まり、野外活動を行う。
25	ボードゲーム同好会	ボードゲームを行うことにより、冷静に盤面を捉え、最善の一手を選ぶ力を養うこと。相手との駆け引きにより、対応する力を養い、他人と関わることで社交性を身に付ける。また、ボードゲームの経験を生かし、新たなボードゲームを制作する。

TOPICS *pick up*

音楽学部

あいちトリエンナーレ舞台芸術公募プログラム

「ショービジネスに乾杯！ 2016 Wind and Musical」に出演しました

2016年10月2日(日)、愛知県芸術劇場大ホールにおいて、本学主催のミュージカル「ショービジネスに乾杯！ 2016 Wind and Musical」が上演されました。このミュージカルは、本学が「あいちトリエンナーレ2016」の舞台芸術公募プログラムの企画募集に応募し、選考の結果採用されて上演となったものです。内容は、ミュージカルの本場ブロードウェイの煌めく舞台を、そのまま愛知県芸術劇場のステージで再現するものです。

ニューヨークの街を斜めに走るブロードウェイ大通り。夜の8時になると、劇場は目映いばかりのネオンに浮かび上がり、一斉に華やかなショーの幕が上がります。ブロードウェイ大通りは、“ショービジネスの虹の道”になります。そして、観客たちはお気に入りの劇場を探し出し、そこを一夜のサライとして、幻想の世界の住人になります。そんな煌めくブロードウェイの眠らない夜を、そのまま芸術劇場のステージに再現させたのが、このミュージカル『ショービジネスに乾杯！ 2016～Wind and Musical～』です。

名古屋とニューヨークの時差は13時間。13時間後にブロードウェイで幕を開ける様々なショーを一足先に芸術劇場のステージ上で演じ、観客の皆様にも晩秋のブロードウェイ散歩をお楽しみ頂きました。

構成・演出は森泉博行(本学教授)、音楽監督は竹内雅一(本学教授)で、演奏は名古屋芸術大学ウィンドオーケストラのほか高山市民吹奏楽団に、また、出演では、名古屋芸術大学ミュージカルコース・名古屋芸術大学ミュージカルカンパニー・ワンのほか、本学の連携先である飛騨ミュージカルカンパニー・碧南ミュージカルカンパニーにご協力いただきました。

プログラムは、「Rhapsody In Blue」の演奏でスタート。「Lullaby Of Broadway」や「WICKED」、「My Fair Lady Medley」など有名な数々のミュージカルの一シーンが演奏されました。最後は、1996年ニューヨークシアターで初演され、5140回の連続上演記録を持ち、今では世界15ヶ国で上演されている「RENT」で終演となりました。

芸術劇場のホールを埋めた観客からは割れんばかりの盛大な拍手が送られて幕となりました。



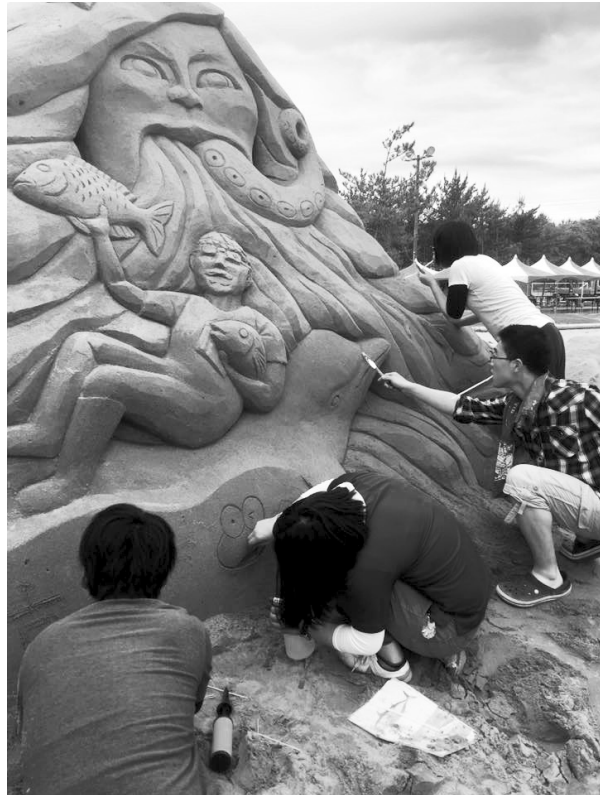
美術学部 2016 吹上浜砂の祭典

北名古屋市と災害時相互応援協定を結んでいる鹿児島県南さつま市で開催された「2016吹上浜砂の祭典」。

今年度も北名古屋市の代表として美術領域アートクリエイターコースの学生と教員が参加しました。

「海～A Gift from the Sea～」という既定テーマのもと、3～8メートルの砂像3体を制作。制作期間は不安定な天候で雨が降ることが多く、作業は困難になるばかりでした。

そんな中完成させた「日本の海的神話「因幡の白兔」」、「ヴィーナス誕生」、「よくばり、マーメイド」の作品は、国内外から集まるクリエイターたちの作品とともに多くの人を楽しませました。



デザイン学部

尾州毛織物プロジェクト2016

伝統の織物技術と若い感性をかけ合わせ、新たな可能性を探求しました

テキスタイルデザインコースでは、「尾州毛織物プロジェクト2016」が実施しました。ファッションキュレーター宮浦晋哉氏による講義や、紡績工場、染色整理工場見学、製織工場での作業体験など、尾州の関係者から直接学びます。学生が大学の手機機でサンプルを制作し、織物組織からデザインした生地を尾州産地で生産。その生地は本学アート&デザインセンターで行われる展覧会や東京のアパレル業者向けの受注会で披露されます。

若い感性をものづくりに取り入れることで産地に貢献する狙いがあり、授業の一貫として注文を受け生産まで行うことを視野に入れています。



人間発達学部



本学東キャンパスでは、前後期にわたり、ワークショップを開催しています。

子どもコミュニティセンターが主体となり、子ども発達学科の学生がサポートを行います。近隣に住む子どもと保護者に向けて、「自由な遊び」と「テーマ遊び」を取り入れたさまざまな遊びや、大学教員による子育てに関する講座を企画。学生たちは子どもたちのために手作りの紙芝居や人形劇、手遊びなど内容に工夫を凝らし、練習を重ねました。

地域への貢献だけでなく、保育者を目指す学生にとっても保育の現場体験を通して子どもと一緒に成長できる貴重な機会となっています。



後援会委員募集

日頃は後援会活動にご理解とご協力を賜わり誠にありがとうございます。
 皆様から頂いています後援会費は、公開講座、芸大祭、クラブ活動、国際交流など様々な活動の補助として役立てられています。
 後援会は年4回ほどの委員会を学内の会議室で行なっています。子供の学生生活を知ることでもでき、親同士楽しくお話ししたり、学長先生から直接お話を伺うこともできます。
 名古屋芸術大学を盛り上げ、子供達が楽しい学生生活を送れるよう、一緒に応援して行きましょう!!
 参加して下さる方大歓迎です。
 随時委員を募集しています。
 ご連絡お待ちしております。

【お問い合わせ】

電話：0568-24-0315 (内線385番)
 メールアドレス：kouenkai@nua.ac.jp

副会長 水谷美枝子



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

アート&デザインセンター 2017/2018 展覧会スケジュール

2017	
3月31日(金)～4月12日(水)	2016年度デザイン学部レヴュー選抜展
4月21日(金)～4月26日(水)	私×口
5月12日(金)～5月17日(水)	アートクリエイターコース・コレクション展
//	Peace nine 2017
5月19日(金)～5月24日(水)	OB・OG展2017
5月26日(金)～5月31日(水)	名古屋芸術大学写真部展
6月2日(金)～6月7日(水)	伽藍の童展
6月9日(金)～6月14日(水)	名古屋芸術大学教員展
6月16日(金)～6月21日(水)	つながり展：洋画コース3年
//	Be
//	CUTTING COMPOSITION 2nd
6月23日(金)～6月28日(水)	プレソツ展
6月30日(金)～7月5日(水)	「食べる」とは
//	2017年度前期留学生作品展
7月7日(金)～7月12日(水)	大学院洋画制作2017
7月14日(金)～7月19日(水)	素材展(メタル&ジュエリーコース、テキスタイルコース前期制作展)
7月21日(金)～7月26日(水)	素材展(メタル&ジュエリーコース、テキスタイルコース前期制作展)
7月28日(金)～8月2日(水)	AFTER DENMARK 2017 展
//	三人展
9月18日(月祝)～10月1日(水)	2017年度アート&デザインセンター企画展「榎原澄人：記憶の羅針盤」
10月6日(金)～10月11日(水)	洋画1コース3・4年展
//	彫刻クラス展
10月13日(金)～10月18日(水)	洋画2コース4年5人展
//	書道アート展4
10月20日(金)～10月25日(水)	遭遇するドローイング：ハノーファー&名古屋2017
10月27日(金)～11月8日(水)	2017年度アート&デザインセンター企画展「ブルーヴィジョンズ展」(仮称)
11月10日(金)～11月15日(水)	「ア」ーッ！ラジオ2017」「洋画2コース3年生展」
11月17日(金)～11月22日(水)	幼稚園児たちのゲイジツ2017
//	Hand Hospeace：医療と美術2017展
11月24日(金)～11月29日(水)	MCD department2017
12月1日(金)～12月6日(水)	メディアデザインコース展
12月8日(金)～12月13日(水)	洋画コース2年生2コース 展覧会
12月15日(金)～12月20日(水)	こどもの空間 絵本と家具
//	2017年度後期留学生作品展
2018	
1月5日(金)～1月10日(水)	ガラス・陶芸コース2・3年生合同展覧会(仮)
1月12日(金)～1月17日(水)	日本画3年コース展
//	緑の写真展
1月19日(金)～1月24日(水)	K-109展：版画研究室開設30周年展
//	Academic Melting Pot “ソソミティ”
2月17日(土)～2月25日(日)	第45回名古屋芸術大学卒業制作展
4月	2017年度デザイン学部 レヴュー選抜展

※都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

Art & Design Center 

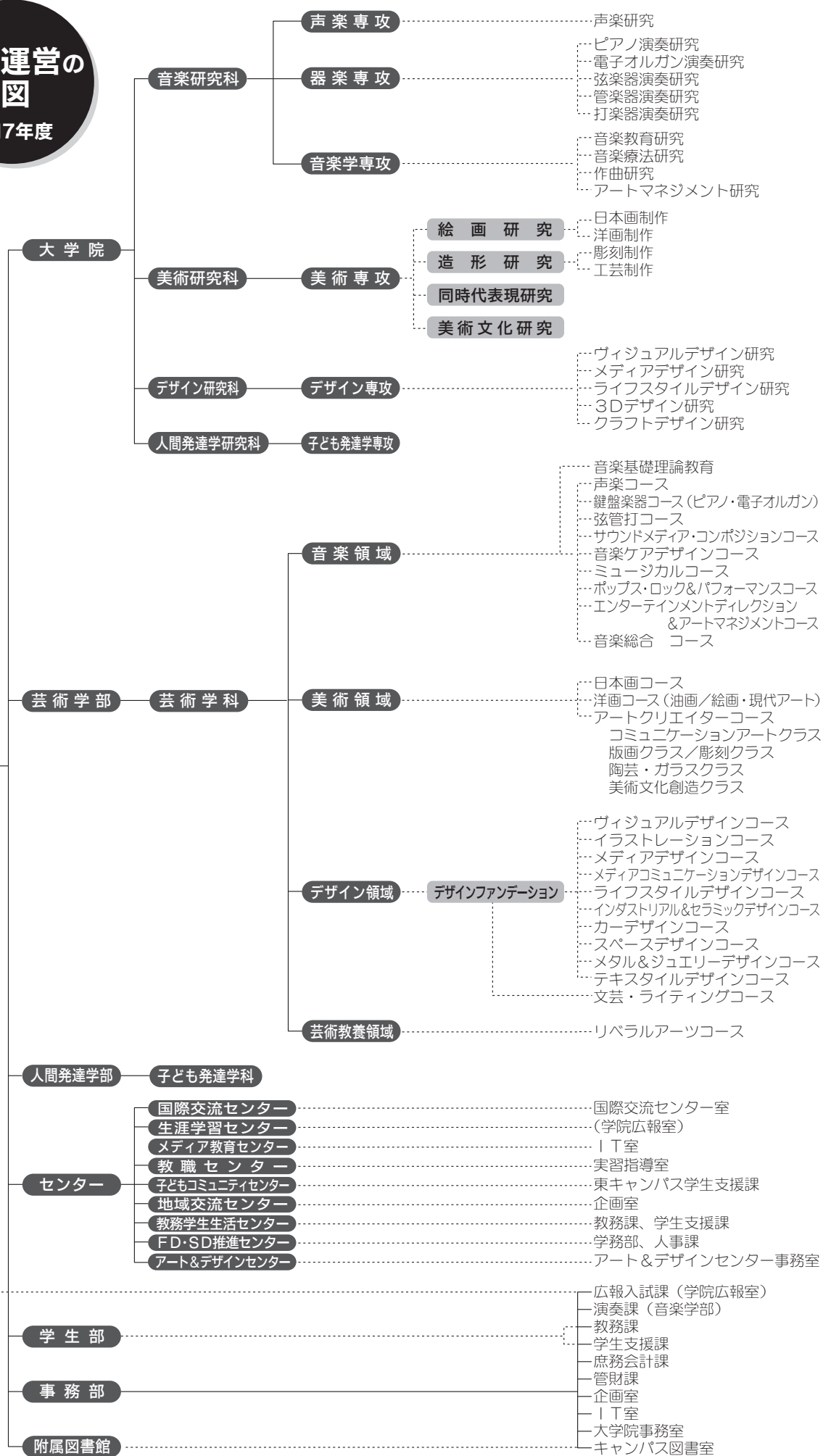
名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

大学運営の組織図

2017年度

大学

学院広報室



名古屋芸術大学・大学院後援会会則

第1条 本会は名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。

第2条 本会は名古屋芸術大学・大学院の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
- (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
- (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。

第4条 本会は名古屋芸術大学・大学院学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。

第5条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名

第6条 本会の役員選出は次の方法による。

- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
- (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
- (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。

第7条 本会役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
- (2) 監事は会務を監査する。
- (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。

第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。

第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。

第10条 総会は次の事項を審議・決定する。

- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
- (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
- (3) 役員の選出、その他の役員が必要と認めた事項。

第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。

第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。

第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。

- (1) 総務委員会
- (2) 事業委員会
- (3) 広報委員会

第14条 委員会に、委員長1名、副委員長2名および委員若干名をおく。

- 2 委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は委員会の同意を得て会長が指名する。

第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。

第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。大学院生は年額10,000円とする。

第17条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

第18条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。

- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
 - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
 - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。

名古屋芸術大学・大学院後援会 弔意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
3. 役員 of 2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、平成18年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学・大学院後援会 顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学・大学院の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は平成17年4月1日から適用する。

学校法人名古屋自由学院決算報告

平成28年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目	27 年 度	28 年 度	前年度比較
【事業活動収入】			
学生生徒等納付金	3,217,907	3,040,038	△177,869
補助金	299,516	256,340	△43,176
その他	394,806	374,942	△19,864
A基本金組入前事業活動収入計	3,912,229	3,671,320	△240,909
基本金組入額	0	0	0
B事業活動収入計	3,912,229	3,671,320	△240,909
【事業活動支出】			
人件費	2,585,469	2,473,252	△112,217
教育研究経費	1,173,253	1,102,736	△70,517
管理経費	441,418	422,034	△19,384
その他	1,570	4,500	2,930
C事業活動支出計	4,201,710	4,002,522	△199,188
A-C基本金組入前当年度収支差額	△289,481	△331,202	△41,721
B-C当年度収支差額	△289,481	△331,202	△41,721
基本金取崩額	162,817	220,227	57,410

事業活動収入の部は、学納金収入は減少し補助金収入等も前年度を下回り、事業活動収入計は36億7,132万円(前年度比2億4,091万円減少)となりました。基本金組入額は、取崩額が上回ったため今年度はありませんでした。

事業活動支出の部は、人件費24億7,325万円、教育研究経費11億274万円、管理経費4億2,203万円、事業活動支出計は40億252万円(前年度比1億9,919万円減少)となりました。

当年度収支差額は3億3,120万円の支出超過となりました。

平成28年度 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	28年3月31日現在	29年3月31日現在	前年度比較
【資産の部】			
固定資産	15,956,587	15,727,009	△229,578
流動資産	1,937,013	1,747,765	△189,248
資産の部合計	17,893,600	17,474,774	△418,826
【負債・基本金・消費収支差額の部】			
固定負債	1,263,629	1,281,263	17,634
流動負債	926,149	820,890	△105,259
負債の部合計	2,189,778	2,102,153	△87,625
基本金	19,324,693	19,104,466	△220,227
翌年度繰越収支差額	△3,620,871	△3,731,845	△110,974
負債及び純資産の部合計	17,893,600	17,474,774	△418,826

資産の部合計は17億8,477万円(前年度比4億1,883万円減少)、負債の部合計は2億1,102万円(前年度比8,763万円減少)、基本金の合計は19億1,044万円(前年度比2億2,023万円減少)、翌年度繰越収支差額は3億7,318万円の支出超過となりました。

注1. 千円未満は、四捨五入。
詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

「せせらぎ合唱団」団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、名古屋芸術大学後援会の有志により「歌を歌って楽しもう」と19年前から活動している合唱サークルです。美術部の絵画サークル「壁の華」より数年遅れて始まりました。いまでは両方の会員になって活動している方もあります。今年入学された父兄の皆様には5月の定期総会に出席された方々にはすでに案内させて頂きました。まだこの会をご存知ない方々にもぜひとも知っていただきたく、この会員の募集をします。「せせらぎ」とは、小川の流れや音です。合唱は一人の声は小さく弱いのですが、仲間の声を聞き合わせるとカラオケとは違ったハーモニーが出来ます。うまく歌えなくても、心が楽しく、気持ちが浮き立ってきます。この4月からは、団員の歌いたい曲「ハナミズキ」（一青窈：作詞）を10名位の団員で歌っています。皆さんを、団員のみならずお待ちしています。ぜひともこの仲間に加わって一緒に歌おうではありませんか？発声練習の時間も、中学校の音楽の時間歌ったことのある「ローレライ」や「夢路より」を二部合唱で歌っています。

声を出すことで、健康を実感できるこのサークルへ、是非とも加わってください。お待ちしております。

【練習日】

毎月第3土曜日の午後1時から2時30分まで
(都合により変更あり)

【場 所】

東キャンパス4号館の3階のオペラ教室
(グランドピアノで練習)

【指導者】

本校の卒業生である山田正丈先生と江端智哉先生に発声の仕方から各パートの音取りを懇切丁寧に教えてもらっています。

〈問い合わせ先〉

会 長 長江 政則
〒480-1214 瀬戸市上品野927番地
電話：0561-41-1655 携帯：080-3621-7706
副 会 長 千石 智子
〒488-0863 尾張旭市城前町上大道4084-6
電話：0561-53-4222 携帯：090-8469-4324



絵画グループ 壁の華 会員募集

私達の絵画グループ壁の華は名古屋芸術大学後援会の有志により活動を続けております。毎月1回大学の先生方より懇切丁寧な指導を頂き、初心者の方も楽しく自然に壁の華の一員になる事が出来ます。

今年で第23回の展覧会を、名古屋市民ギャラリーで開催致しました。

他にスケッチ会、鑑賞会等あり、会員の交流が深まり、生活に潤いが生まれ楽しくなると思います。

壁の華の会員は新しい仲間を待っています。

【活動状況】

- 1、月例会 (月額会費：1,000円)
日時：毎月第三日曜日午後2時～4時
場所：名芸大西キャンパス
- 2、グループ展 (23回継続中)
日時：毎年5月上旬(一週間展示)
場所：名古屋市民ギャラリー 7F
- 3、スケッチ会 11月予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

〈問い合わせ先〉

会 長 宇佐見 誠也
〒489-0874 瀬戸市幡野町508
電話：0561-21-4567 携帯：090-7305-8205
運営委員長 森部 みや子
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58
電話：0587-32-2814 携帯：090-1825-1671



編集後記

後援会報第63号をお届けいたします。保護者の皆様、関係各位様のおかげで今号も無事発行できましたこと、心より感謝申し上げます。さて、私事ではありますが、昨年度は名芸生の演奏会を数多く拝見させていただきました。学生達の演奏からは、「音楽大好き！仲間が大好き！」という思いがキラキラと溢れ出し、こんな風に青春時代を過ごせる彼らが眩しく、羨ましい思いに駆られました。また、近隣からも多くの方が聴きに来てくださっており、私達の知らないところで彼らの音楽を愛してくださる方がこんなにいらっしやるんだという、うれしい驚きもありました。名芸生は音楽学部だけに限らず、様々な分野で魅力的な活動を繰り広げ、多くの人々に愛されているのだらうと思います。これからのシーズンは芸大祭をはじめ制作展、演奏会などが目白押しです。若さ溢れるお子様の姿を探しに、発表の場にお出かけになってみてはいかがでしょうか。最後になりましたが、後援会へのご質問、ご要望などお待ちしております。今後ともご支援のほど、どうぞよろしく願いたします。 広報委員長 野々山早苗

- ◆発行 名古屋芸術大学・大学院後援会
〒481-8503
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学・大学院後援会
広報委員会
- ◆表紙デザイン 本学デザイン学科卒業生 武藤理恵子
- ◆封筒デザイン 本学デザイン学科卒業生 福見光洋
- ◆発行日 2017年(平成29年)9月30日

